

科目名	哲学		
担当教員名	田子山 和歌子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1) 科目の性格 哲学史(哲学の歴史)を自分で構築するユニークな授業です。
- 2) 科目の概要 西洋哲学史について書かれた複数の高校倫理の教科書を、2,3人のスモールグループで読みくらべ、それぞれの教科書でどのような理解が目指されているかを学びます。次に、哲学者自身の手による哲学的著作(テキスト)を実際に読み、教科書群で語られた内容と比較します。こうした作業から、どのような哲学史理解が得られるかをグループで話し合います。
- 3) 学修目標 哲学史の学習は、しばしば受動的なものとしてとらえがちです。しかし、哲学史の教科書を複数比較すると、同一事項に関しても、様々な記述がなされていることに気づかされます。こうした比較を通して、哲学史を客観的に見る練習をしたいと思います。また、教科書の比較をたたき台にすることで、一見難しいように思われる哲学者の書いた著作にも、興味を持って接することができます。できるだけ、哲学を身近に感じるようにできることが、この授業の目標です。

内容

1	ガイダンス
2	実際に哲学の教科書を読んでみる。デカルト1
3	デカルト2
4	スピノザ、マルブランシュ、ライプニッツ1
5	スピノザ、マルブランシュ、ライプニッツ2
6	ギリシャ哲学1
7	ギリシャ哲学2
8	ギリシャ哲学3
9	キリスト教、ユダヤ教1
10	キリスト教、ユダヤ教2
11	キリスト教、ユダヤ教3
12	中世哲学 トマス・アクイナス、アウグスティヌス1
13	中世哲学 トマス・アクイナス、アウグスティヌス2
14	中世哲学 トマス・アクイナス、アウグスティヌス3
15	現代へ カント、ヘーゲル

評価

平常点、最終期末試験から成績を評価する。平常点(授業への参加度)を50点、期末試験を50点、計100点として、評価を行う。授業の形式上、出席重視の授業なので、毎回出席してほしい。欠席が著しく目立つ場合は最終試験を受ける資格はないものと判断する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎回プリントを配布します。

科目名	論理学		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1 科目の性格

本科目は「共通科目」に位置づけられている。

2 科目の概要

現代の我々は、膨大で多様な情報の適切な処理のため、その構造や意味、連関などを分析・解明して、それらが厳密な論理的表現形式へと置換し、そこから新たな情報を導出するといった能力が求められるが、その能力とは、言うまでもなく論理の力である。

本科目では、論理学の基本的な考え方を学び、人間の持つこの論理的思考の本当のあり方を正しく評価するとともに、経験的事実に関する論理計算を実際に行い論理的能力の向上をはかることを目的とする。

3 学修目標

本科目の学修目標は以下の3点である。 記号論理学の基礎を理解することができる。 文章命題を記号命題に変換することができる。 記号命題を用いて論題を解明することができる。

内容

論理学とは、数学的色彩の強いものであるという一般的な印象があり、難しいものと思われがちであるが、我々は実際には日々いろいろな種類の推論や論証を行っているのである。本授業では、知的ゲームとしての論理パズルを解いてゆき、そうした推論や論証の力を伸ばし、秩序立てて論理的に事物を考える習慣を身につけていく。

1. 真偽の探求

- 1回 記号の原則
- 2回 真理表
- 3回 命題と条件文
- 4回 記号による推論
- 5回 論理尺
- 6回 背理法
- 7回 ダイアグラム
- 8回 論理的等値
- 9回 論理法則

2. 存在と無

- 10回 ヴェン図の基本
- 11回 ヴェン図による論証

3. 個体と属性

- 12回 個体領域
- 13回 属性の検証
- 14回 限量式と個体領域

4. まとめ

評価

小テスト50：筆記試験50の比率で評価（100点満点）し、合計60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】 内井惣七著 『いかにして推理するか、いかにして証明するか』 ミネルヴァ書房

【参考図書】 本学図書館の蔵書の中から、授業中に随時紹介する。

科目名	宇宙科学		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は社会情報学部においては数少ない自然科学系の科目である。客観的に自然をとらえる姿勢と科学的な教養を身につけて欲しいと考えている。

科目の概要

現在この世界を形作っているさまざまな元素は、宇宙の進化発展と深くかかわっている。この講義では、宇宙のはじまりから現在に至る間にどのように元素が生まれてきたのかについて学ぶ。またこの世界を形作っている基本粒子について学ぶ。

学修目標

1. 宇宙の始まりについて理解する。
2. この世界がどのような要素から構成されているのかを理解する。
3. 宇宙の歴史の中でどのように元素が生まれてきたかを理解する。

内容

1	宇宙と地球について
2	ビッグバンと物質の起源
3	元素説
4	原子核と電子
5	宇宙初期での元素合成
6	銀河と星のはじまり
7	太陽の光るしくみと原子力
8	光の正体
9	小さい星の最期と元素の合成
10	重い星の最期と元素の合成
11	中性子と中性微子
12	宇宙の中での分子の合成
13	星の誕生と地球
14	まとめ-その1
15	まとめ-その2

評価

授業中の提出物30%、試験70%により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、レポートを課す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】使用しない

【参考図書】加藤万里子「新・100億年を翔ける宇宙 ビックバンから生命の誕生まで」恒星社厚生閣

科目名	法律学基礎		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

法学の入門的な位置付けとなります。

科目の概要：

社会に生きる人は、日常、意識するしないを問わず、国民として、家族の一員として、個人として、また消費者として様々な立場で法と関わっています。この「法」とは一体どのようなものなのでしょうか。また、法的なトラブルに遭遇しないためには法律を知る必要があるという一方、法的なトラブルに遭遇してしまったときにはどうすればよいかという問題も生じます。そのために、法をめぐり、どのような法律や制度が存在するのかについて学びます。また主要な法律を概観します。

科目の目的：

法学入門として基礎的な知識の理解を図るとともに、現代社会に特徴的な法的問題への理解を深めることを目的とします。

内容

1	法とは何か	
2	法曹	法律家の種類と仕事
3	法曹	法曹養成制度
4	法の種類	
5	紛争解決と法	裁判制度・代替的紛争解決(ADR)
6	紛争解決と法	裁判員制度の現状と課題
7	国家と法：	憲法
8	日常生活と契約：	民法(契約法)
9	日常生活とアクシデント：	民法、消費者法ほか
10	家族関係と法：	民法(家族法)
11	労働と法：	労働法
12	企業と法：	会社法
13	現代社会と法	
14	国際社会と法	
15	総括	

評価

レポート等提出物・授業態度(40%)・ペーパーテスト(60%)を総合して評価します。100点満点中60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書・テキスト】

『法の世界へ[第4版補訂]』 池田真朗・犬伏由子他著 (有斐閣アルマ)

『デイリー六法』（三省堂）

科目名	日本国憲法		
担当教員名	内野 伸之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)/中学校教諭一種免許状(社会)/高等学校教諭一種免許状(公民)/高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

憲法は国家の法体系の基礎となる法規で、国の権力構造や国民の権利・義務を左右する法であるので、この国で暮らす全ての人にとってその内容を知ることは必要なことである。

この授業では日本国憲法の構造とそれを支える基本原理を明らかにし、その原理の具体化である各規定の意義を考える。その上で憲法が、われわれの日常生活の中で生起する諸問題にどのように作用しているのかを知るために、判例などを参照してその実像を吟味する。

学修目標としては、(1)基本原理を理解する、(2)基本原理と各条文との関係を理解する、(3)憲法に対する考え方は一つではなくいろいろな考え方があることを理解する、(4)判例の果たす役割を理解する。

内容

1	憲法の構造(前文、人権、統治機構)
2	人権と公共の福祉との関係
3	包括的人権(1)プライバシー権
4	同 上 (2)肖像権
5	同 上 (3)環境権
6	平等権(1)平等思想の展開
7	同 上(2)日本国憲法における平等原則
8	受益権
9	人身の自由
10	思想良心の自由と憲法上の位置づけ
11	信教の自由(1)信仰の自由
12	同 上 (2)政教分離
13	表現の自由
14	社会権とその種類
15	まとめ

評価

前半終了時の小レポート(20%)と最終の筆記試験(80%)で評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用せず

【推薦書】芦部信喜(高橋和之・補訂)『憲法(第4版)』 岩波書店

小嶋和司・大石 真『憲法概観(第6版)』 有斐閣

斉藤静敬『憲法要説』 成文堂

科目名	日本国憲法		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。
- 講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。
- 学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。

内容

授業計画

- 第1回：憲法を学ぶにあたって
- 第2回：憲法の成立過程
- 第3回：憲法に結実している思想、基本的人権の構造と展開
- 第4回：個人としての尊重、幸福追求権、自己決定権
- 第5回：人間らしく生きる権利、生存権、教育を受ける権利
- 第6回：健康権、環境権
- 第7回：政治と憲法（国民主権、象徴天皇制、選挙）
- 第8回：政治と憲法（国会、内閣、地方自治）
- 第9回：平和保障と憲法（憲法と日米安全保障条約）
- 第10回：平和保障と憲法（グローバリゼーションと国際貢献の在り方）
- 第11回：裁判と憲法（裁判を受ける権利）
- 第12回：裁判と憲法（違憲立法審査権）
- 第13回：憲法改正論の論点整理（現状と課題）
- 第14回：主権者教育としての憲法教育の意味
- 第15回：全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】伊藤真『伊藤真の日本一わかりやすい憲法入門』中経出版
- 【参考書】三省堂『新六法 2012年版』

科目名	日本国憲法		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。
- 講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。
- 学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。

内容

授業計画

- 第1回：憲法を学ぶにあたって
- 第2回：憲法の成立過程
- 第3回：憲法に結実している思想、基本的人権の構造と展開
- 第4回：個人としての尊重、幸福追求権、自己決定権
- 第5回：人間らしく生きる権利、生存権、教育を受ける権利
- 第6回：健康権、環境権
- 第7回：政治と憲法（国民主権、象徴天皇制、選挙）
- 第8回：政治と憲法（国会、内閣、地方自治）
- 第9回：平和保障と憲法（憲法と日米安全保障条約）
- 第10回：平和保障と憲法（グローバリゼーションと国際貢献の在り方）
- 第11回：裁判と憲法（裁判を受ける権利）
- 第12回：裁判と憲法（違憲立法審査権）
- 第13回：憲法改正論の論点整理（現状と課題）
- 第14回：主権者教育としての憲法教育の意味
- 第15回：全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】伊藤真『伊藤真の日本一わかりやすい憲法入門』中経出版
- 【参考書】三省堂『新六法 2012年版』

科目名	日本国憲法		
担当教員名	内野 伸之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

憲法は国家の法体系の基礎となる法規で、国の権力構造や国民の権利・義務を左右する法であるので、この国で暮らす全ての人にとってその内容を知ることは必要なことと思われる。

この授業では日本国憲法の構造とそれを支える基本原理を明らかにし、その原理の具体化である各規定の意義を考える。その上で憲法が、われわれの日常生活のなかで生起する諸問題にどのように作用しているのかを知るために、判例などを参照してその実像を明らかにする。

学修目標としては、(1)基本原理を理解する、(2)基本原理と各条文との関係を理解する(3)憲法に対する考え方は一つではなく、いろいろな考え方があることを理解する、(4)判例の果たす役割を理解する。

内容

1	憲法の構造(前文、人権、統治機構)
2	人権と公共の福祉
3	包括的人権 (1)プライバシー権
4	同 上 (2)肖像権
5	同 上 (3)環境権
6	平等権 (1)平等思想の展開
7	同 上 (2)日本国憲法における平等原則
8	受益権
9	人身の自由
10	思想良心の自由と憲法上の位置づけ
11	信教の自由 (1)信仰の自由
12	同 上 (2)政教分離
13	表現の自由
14	社会権とその種類
15	まとめ

評価

前半終了時の小レポート(20%)と最終の筆記試験(80%)で評価、60点以上合格

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用せず

【推薦書】芦部信喜(高橋和之・補訂) 『憲法(第4版)』岩波書店

小嶋和司・大石 真 『憲法概観(第6版)』有斐閣

齊藤静敬 『憲法要説』成文堂

科目名	経営経済学基礎		
担当教員名	込江 雅彦、狩野 浩二、廣坂 多美子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

社会情報学部の共通科目である。

科目の概要

人間は、自らが生きている環境、世界と無関係に生きることはできない。そこで、自分たちが生きている環境がどのようなものであるか、いかに生きていくべきかを知ることは重要なこととなる。この授業のねらいは、知識・情報を与えたり、教えるのではなく、学生自らが興味や関心を持ったり、自ら知りたいと思う課題を、自ら探求していく力を得ることである。このねらいを実現するために、大学の所在地である新座を通して地域社会を理解する。

後期の授業では、サツマイモプロジェクトを行います。サツマイモの収穫から、商品開発、マーケティング、販売等々をこの科目の参加者で取り組んでいきます。

学修目標

自分たちでテーマを決め、インタビュー、アンケートなどにより結果をプレゼンテーションする能力を身につけることを目標にする。

内容

1	ガイダンス
2	ゲスト講師による講義 1
3	ゲスト講師による講義 2
4	ゲスト講師による講義 3
5	ゲスト講師による講義 4
6	ゲスト講師による講義 5
7	ゲスト講師による講義 6
8	グループによるテーマ決め
9	グループによるテーマ内容の検討
10	中間発表
11	グループによる発表資料作成 1
12	グループによる発表資料作成 2
13	グループによる発表資料作成 3
14	最終プレゼンテーション 1
15	最終プレゼンテーション 2

評価

毎回の課題（20％）、最終プレゼンテーション（80％）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	経営経済学基礎		
担当教員名	込江 雅彦、狩野 浩二、廣坂 多美子、高橋 京子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目である。

科目の概要

人間は、自らが生きている環境、世界と無関係に生きることはできない。そこで、自分たちが生きている環境がどのようなものであるか、いかに生きていくべきかを知ることは重要なこととなる。この授業のねらいは、知識・情報を与えたり、教えるのではなく、学生自らが興味や関心を持ったり、自ら知りたいと思う課題を、自ら探求していく力を得ることである。このねらいを実現するために、大学の所在地である新座を通して地域社会を理解する。

後期の授業では、サツマイモプロジェクトを行います。サツマイモの収穫から、商品開発、マーケティング、販売等々をこの科目の参加者で取り組んでいきます。

学修目標

自分たちでテーマを決め、インタビュー、アンケートなどにより結果をプレゼンテーションする能力を身につけることを目標にする。

内容

1	ガイダンス
2	ゲスト講師による講義 1
3	ゲスト講師による講義 2
4	ゲスト講師による講義 3
5	ゲスト講師による講義 4
6	ゲスト講師による講義 5
7	ゲスト講師による講義 6
8	グループによるテーマ決め
9	グループによるテーマ内容の検討
10	中間発表
11	グループによる発表資料作成 1
12	グループによる発表資料作成 2
13	グループによる発表資料作成 3
14	最終プレゼンテーション 1
15	最終プレゼンテーション 2

評価

毎回の課題(20%)、最終プレゼンテーション(80%)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	ジェンダー論		
担当教員名	阿部 史、橋本 ヒロ子、大友 由紀子、亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部共通科目・ジェンダー論基礎科目の必修科目

科目の概要および 学修目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わってきており、女性も男性も、社会的・文化的性差(ジェンダー)にとらわれない多様な生き方が現れはじめている。それを可能にする考え方、新たな制度の成立などを知ること、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信をもって積極的に社会参加できるよう、多様な生き方を考え、選択する力を強めることにつなげる。

現代女性のすぐれたモデルである本学園創立者「十文字こと」先生の生き方を理解したうえで、多領域に関わる事柄を「政治と人権」「女性と家族」「働くこと」「法律と仕組み」の4つの領域に分け、オムニバス方式で行う。

内容

1.オリエンテーション: 科目と担当の紹介並びにこと先生のアニメビデオの視聴

2.十文字ことの生き方に学ぶジェンダー視点(橋本ヒロ子)

3-5.「女性の政治参加と人権」(橋本ヒロ子)

世界と日本でどのように男女平等のために努力されてきたか、その中で特に日本女性が遅れている「政治への参画」について、ポジティブアクションの有効性などもふくめ考察する。さらに、デートDV、キャンパスセクハラなど女性に対する暴力が、男女の権力関係により起こること、政治とも関係していることを学ぶ。

6-8.「女性と家族」(大友由紀子)

未婚晩婚化や少子高齢化といった現代社会の変化は、まさに家族の変化である。家族生活の変化は、女性の生き方の変化でもある。結婚と出産からみた女性のライフコースの変化、家事・育児における男女のパートナーシップ、家族介護とジェンダーという3つのテーマについて、社会統計や社会調査のデータをもとに実証的に考察する。

9-11「人の成長とキャリア」(亀田温子)

職業と関わりキャリアの歩みを持つことは現代女性にとって重要なテーマである。ここでは特に女性の職業進出に注目し、その変化と現状・未来をとらえる。いま女性がどのように仕事に関わっているか、年の変化で職種の拡大や社長なるなど地位の拡大など仕事の広がりがおきていること、長期化するなかで職業生活、家庭生活をどのように行うかその歩みであるキャリアをとらえる。それらをもとに、自分自身の今後のライフキャリアプランをつくることにつなげる。

12-14.「女性の生き方と法律」(阿部 史)

法律や制度とジェンダーとの関わりについて取り扱う。女性の法的地位が国際的にどのように変化したのか、それが国内に与えた影響について。また、女性のプライベートな生活と法、女性が働くことと法律がどのように関わっているのか、その仕組み、限界、そして展望を考察する。

15 まとめと講評(阿部 史)

評価

4つのテーマによる担当教員がレポートあるいはテストによる各教員の評価(20点×4)を行う。さらに全体の受講態

度による平常点（20点）を加えて100点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各領域ごとに担当教員が資料を配布、紹介する。

科目名	ジェンダー論		
担当教員名	大友 由紀子、亀田 温子、片居木 英人、宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1 科目の性格 社会情報学部の共通科目/ジェンダー論基礎科目 必修

2 科目の概要・目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わっている。女性も男性も、社会的・文化的性差(ジェンダー)にとらわれない多様な生き方が現れはじめている。そうした社会の動きをとらえると同時に、それを可能にする考え方、新たな制度の成り立ちを知ることで、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信をもって積極的に社会参加できるよう、多様な生きかたを考え、選択する力を強めることにつなげる。

現代女性のすぐれたモデルである本学創立者「十文字こと」先生の生き方を理解したうえで、多領域に関わる事柄を「人の成長とジェンダー」「女性とセクシュアリティ」「女性の働き方の変化」「女性と家族」の4つにわけ、オムニバス方式の学習とする。

内容

1回 オリエンテーション

科目担当教員の紹介。十文字こと先生の生き方を描いたアニメビデオの視聴。

2回 十文字こと先生の生き方に学ぶ

現代社会においても社会で活躍する女性のモデルであること先生に生き方をとらえる。

3 - 5回 「人の成長とジェンダー」(担当:亀田)

女性も男性もその生き方は多様になっているが、人の成長プロセスの中でつくられる「女/男らしさ」の場面をとらえ、「当たり前」と思っていることがどのようにつくられたジェンダーと関わるか再考していみる。また、女性への職業・経済活動への参加期待、男性への家事・育児参加期待など、生き方の多様化により、これまでのジェンダーが変化している現状をとらえる。

6 - 8回 「女性とセクシュリッテイ」(担当:片居木)

基本的人権としての性的人格権(セクシュアル・ライツ)に焦点をあわせます。性暴力、多様な性感染症、生殖補助医療など難しい人権問題がありますが、授業は問題の可視化と性的自己決定のエンパワーメントを目指して展開します。

9 - 11回 「女性の働き方の変化」(担当:宮城)

女性たちはいつの時代も働きつづけてきたが、社会的分業としての職業を得て、自らの経済的自立のために働きだした歴史は、そう長くはない。現代日本における雇用労働の現状を踏まえ、男女共同参画と生活者の福祉を実現するワークライフバランスを検討し、将来の仕事のビジョンを描く力を得る。

12 - 14回 「女性と家族」(担当:大友)

未婚晩婚化や少子高齢化といった現代社会の変化は、まさに家族の変化である。家族生活の変化は、女性の生き方の変化でもある。結婚と出産からみた女性のライフコースの変化、家事・育児における男女のパートナーシップ、家族介護とジェンダーという3つのテーマについて、社会統計や社会調査のデータをもとに実証的に考察する。

5回 まとめと講評

評価

4つの領域の担当教員がレポートまたはテストによる評価(20点×4)を行う。それに受講態度による平常点(20点)を加えて合計を100点とし、60点以上を合格点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テーマごとに、各教員が資料を配布、紹介する。

科目名	ジェンダー論		
担当教員名	宮城 道子、片居木 英人、阿部 史、橋本 ヒロ子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1 科目の性格 全学共通科目 十文字学Aの1科目で選択必修

2 科目の概要・目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わってきており、女性も男性も、社会的・文化的性差（ジェンダー）にとられない多様な生き方が現れ始めている。それを可能とする考え方、新たな制度の成立などを知ることで、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信を持って積極的に社会参加できるよう、自己決定力を強めることをめざす。

現代女性のすぐれたモデルである本学園創設者の「十文字こと」先生の生き方を理解した上で、「女性の働き方の変化」「女性の生き方と法律」「女性の政治参加と人権」「女性とセクシュアリティ」の4つのテーマについて、オムニバスで学ぶ。

内容

1.オリエンテーション：科目の説明と4テーマの担当者の紹介。創設者「こと先生」のビデオ視聴

2.十文字こと先生の生き方に学ぶジェンダー視点（宮城）

3.-5.「女性の働き方の変化」（宮城）：女性たちはいつの時代も働き続けてきたが、社会的分業としての職業を得て、自らの経済的自立のために働きだした歴史は、それほど長くはない。現代の日本における雇用労働の状況を踏まえ、男女共同参画と生活者の福祉を実現するワークライフバランスを検討し、将来の仕事ビジョンを描く力を得る。

6.-8.「女性の生き方と法律」（阿部）：法律や制度とジェンダーの関わりについて取り扱う。女性の法的地位が国際的にどのように変化したのか、それが国内に与えた影響について。また、女性のプライベートな生活と法、女性が働くことと法律がどのように関わっているのか、その仕組み、限界、そして展望を考察する。

9.-11.「女性の政治参加と人権」（橋本）：世界と日本でどのように男女平等のために努力されてきたか、その中で特に日本女性が遅れている「政治への参画」について、ポジティブアクションの有効性などを含め、考察する。さらにデートDV、キャンパスセクハラなど女性に対する暴力が、男女の権力関係により起こること、政治とも関係していることを学ぶ。

12.-14.「女性とセクシュアリティ」（片居木）：基本的人権としての性的人格権（セクシュアル・ライツ）に焦点をあてる。性暴力、多様な性、性感染症、生殖補助医療など、現代社会には「女性と性」にかかわる人権問題が横たわっている。切り離せない生と性、すなわちセクシュアリティ問題は、大変価値判断の難しい内容を伴っているが、問題の可視化と性的自己決定のエンパワーメントをめざして授業を展開する。

15.まとめと講評（片居木）

評価

4つのテーマの担当教員がレポートあるいはテストによる評価（20点×4）を行う。さらに全体の受講態度による平常点（20点）を加えて100点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各領域ごとに担当教員が資料を配布、紹介する。

科目名	女性情報論（ジェンダー論 - 2）		
担当教員名	青木 玲子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は社会情報学部ジェンダー論基礎科目ジェンダー論 - 2で必修選択科目である

科目の概要

氾濫する情報の中から、信頼できる情報を得るために情報リテラシーを学ぶ。さらに世の中の情報がいかに女性を固定的な視点で描き、発信しているか、ジェンダー視点で分析して要因を探る。統計資料などの読み解き方を学び現代社会の女性・男性の現状を明らかにする。女性の生き方の選択においてどのように情報を活用していくか、共に考える。

学修目標

信頼できる情報の検索・収集の方法についてについて学び、身近な図書館を活用する

新聞・雑誌・インターネットなど多様なツールで日常的に社会の現状を把握する

女性のライフステージ(就職・研究・結婚・子育て・家族・生涯学習)における支援情報を知る

毎時間、新聞記事・雑誌記事のワークシートをまとめる

内容

1	1.女性情報とは何か 女性情報ツールの紹介 科目のオリエンテーション
2	2.女性情報検索の基礎(図書館/男女共同参画センタの利用・インターネット/データベース検索)
3	2- 女性学関連 図書・参考図書の検索・利用
4	2- 新聞記事・女性雑誌・ミニコミ誌の検索と利用
5	3 男女共同参画社会とは
6	3- ジェンダー分析の実習 (女性を対象/男女共同参画関連新聞記事・雑誌記事の分析)
7	3- ジェンダー分析の実習 (インターネットサイト・映画・写真に見る女性)
8	4 統計で見る日本の女性の現状 (各種統計データベースの紹介・ジェンダー統計とは)
9	5 女性のライフステージにおける女性情報の活用
10	5- 就職活動・研究活動をエンパワーする情報
11	5- 結婚・子育て・介護・再学習を支援する情報
12	6 女性のキャリア形成
13	6- 女性の伝記・自伝を読む 歴史を切り開いた女性の資料を調べる
14	6- 女性の伝記・自伝を読む 新しい分野に挑戦する女性の資料を調べる
15	レポートの発表 まとめ

評価

3. 評価

レポート(50%) ワークシートレポート(40%) 授業への貢献(10%) 60点以上を合格とする

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】または【テキスト】使用しない，プリント配布

【推薦書】『新編日本のフェミニズム7 表現とメディア』天野正子他編 岩波書店
2009

【参考図書】

『男女共同参画データブック 日本の女性と男性』独立行政法人国立女性教育会館 ぎょうせい 2009

『メディアリテラシーとジェンダー』諸橋泰樹 現代書館 2009

『インターネットで文献検索 2010年度版』伊藤民雄 日本図書館協会 2010

『「私」を生きる女たち 伝記で読むその生涯』楠瀬佳子 三木草子 世界思想社 2004

科目名	キャリア開発論（ジェンダー論 - 3）		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

1 全学共通科目 社会情報学科・コミュニケーション学科共通科目 ジェンダー論基礎科目

2 現代社会では、女性にとって職業をどのように考えるかは重要なテーマです。社会人につながる大学教育において、特に女子大学ではこのテーマを学習の中心とすることが最近では多くなっています。多様な、また長期的な職業生活が予想される未来を想定し、職業にかかわる知識をもち、職業支援や子育て支援の様々な制度を知ることから、未来へはばたくイメージ形成を行い、自らのプランをつくる力を養うことにつなげる。

現代の動きをとらえるためにビデオなどを活用。グループワークなども実施する予定。

内容

1回 わたしの10年後は・キャリア・ライフのイメージ

2 - 3回 「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」に見る活躍する女性たち
・ライフサイクル論

3 - 5回 広がる女性の職業進出
・長期化と多様な働き方
・職種の拡大、地位の拡大

6回 チャレンジする女性たち

7 - 9回 仕事に関わる社会制度・子育て支援
・均等法、子育て支援制度

10 - 12回 企業の変化
・ファミリーフレンドリー企業とは

13回 家庭生活と職業
イクメンプロジェクト、ワーク・ライフバランス

14 - 15回 女性たちのキャリア形成

評価

レポート60点、授業への参加度30点、報告10点 により合計100点とする。
60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

「日経ウーマン」他、授業時に紹介する。

科目名	女性と起業（ジェンダー論 - 5）		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

ジェンダー論科目のうち、テーマ別の選択科目 女性の地位向上、男女共同参画の推進という国際的課題への取り組みによって、わが国の女性たちの働き方はおおきく変化した。なかでも、女性たちが自ら事業を起こすという活動は、様々な意味でオルタナティブな提案を含み、注目を集めてきた。先進国における女性の起業動向や発展途上国における所得創出事業も視野におきながら、現代社会における起業を通じて女性の働き方を検討する。事例検討を重視し、履修者が分担して発表・報告を行なうようにする。能動的・主体的な履修者を歓迎する。現代の多様な働き方を理解し、自らの職業選択を確かなものとする知識を得る。

内容

1	労働・職業観の歴史的変化
2	働き方の多様化と現代の課題
3	起業が社会的関心となった社会的状況
4	わが国における起業の動向
5	事例検討1：生活ニーズからの起業
6	事例検討2：生活技術とビジネスチャンス
7	事例検討3：家族自営における経営参画
8	事例検討4：地域振興・地域間交流への貢献
9	事例検討5：ボランティアから持続的事业へ
10	事例検討6：福祉的事业の展開 - ミッションとプロフィット
11	起業の現状と課題
12	起業を支援する施策・制度
13	起業のネットワークおよび高齢者・学生・障害者による起業
14	事業が実現するもの - オルタナティブなマネジメント
15	レポートの発表と講評

評価

事例発表への参加態度（20点）、期末レポート（80点）とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書：金森トシエ・天野正子・藤原房子・久場嬉子『女性ニューワーク論』有斐閣、1989 366.35/J
 地域社会計画センター編『農村の女性起業家たち』家の光協会、1994 611.7/C
 岩崎由美子・宮城道子編著『成功する農村女性起業』家の光協会、2001 611.7/S
 赤松良子『均等法をつくる』勁草書房、2003

科目名	日本文学の中の女性（ジェンダー論 - 8）		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

明治時代に生まれた「女学（じょがく）」と、その教育の行く末を、ひとりの女性の生涯を通してながめながら、女性と文学、女性と政治、女性と経済など、日本近代史の各分野と女性との関わりを考察することを目的としています。

内容

1	プロローグ
2	仙台の明治維新
3	東京の叔母さん
4	上京まで
5	宗教より文学へ
6	新文学運動および浪漫主義
7	『浮雲』の世界
8	文化と資本
9	フェリス退学まで
10	明治女学校
11	にぎやかな生活
12	結婚生活のはじまり
13	開店まで
14	中村屋の商法
15	新宿中村屋

評価

毎回の授業時に提出するリアクション・ペーパー（50%）、学期末レポート（50%）。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】相馬黒光『黙移 相馬黒光自伝』（平凡社ライブラリー）、宇佐美承『新宿中村屋相馬黒光』（集英社）、臼井吉見『安曇野』（筑摩書房）

科目名	日本文学の中の女性（ジェンダー論 - 8）		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

詩人のゲーテは、「バラを見たら詩を書け、リンゴを見たらかじりつけ」（「ファウスト」）と語った。彼にとって女性とは「バラやリンゴ」のように、その美しさをめでるものでもあり、また芸術や命の源泉だった。日本の江戸時代の女訓書『女大学』には、女性は「和順・貞信」であれと、説いている。21世紀の現代女性たちは、それぞれの個性に従いつつも、どう未来予想図を設計していったらよいのだろう。世界と日本の様々な芸術的な創造をした女性たちをふりかえり、彼女たちが時代といかに格闘しあるいは調和し、個性を輝かせていったかを学んでゆきたい。

古今東西の文学者のみならず、さまざまなジャンルにわたる女性の芸術家を対象とする。それぞれの女性たちが生きた時代の社会通念や、時代精神、歴史的背景などもあわせて考えてゆきたい。

最終的には、さまざまな過去の女性たちの生き方の中から、自分の理想とする女性観を見出していきたい。あわせて他の女性あり方や世代間の理解を深め、芸術作品を楽しみながら学んでゆきたい。

内容

1	<序 未来予想図のなかの理想の女性観> 浮世絵の中の女性たち
2	日本の江戸時代の女性観（『女大学宝箱』と中国の女訓書）
3	西洋と現代日本の女性観（若桑みどり『お姫様とジェンダー』他）
4	【芸術に生きる】西洋の女性のデザイナー（ココシャネルの生き方）
5	現代日本の芸術家（ピアニストのフジ子ヘミング）
6	【文学に生きる】西洋の小説家（モンゴメリー『赤毛のアン』）
7	カナダの大自然と女流作家の人生
8	日本の江戸時代の女流俳人（芭蕉の弟子の園女）
9	松尾芭蕉の女性観
10	日本の江戸時代の儒学者の妻（頼山陽の母）
11	紙芝居「頼山陽の母」
12	【絵画に生きる】日本の近代の女流画家（上村松園）
13	西洋の挿絵画家・童話作家（ターシャ・テューダー）
14	自然とともに生きる
15	まとめ

評価

評価は平常点（20点）とレポート（80点）を合計し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】特に、教科書は使用しない。毎回、授業の時にプリントを配布する。

【参考文献】石川松太郎編『女大学集』（東洋文庫302、平凡社、1987）

総合女性史研究会『日本女性の歴史』（角川選書237、1993）

若桑みどり『象徴としての女性像』（筑摩書房）

科目名	スポーツと健康		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

保健体育の講義科目である。こころとからだを通じて、「健康」とは何かについて、実感を持って、感じ、考える授業である。

科目の概要

生涯を健康でこころ豊かに過ごせるように、「健康」「スポーツ」「身体活動」「こころ」「からだ」「感覚」などをキーワードに、生活科学として総合的に理解を深める。そのためにまず「自分を知る」ことを目的とし、こころの健康、からだの健康について実感を持って考える。

学修目標

1. 「自分を知る」ことで、自分への気づきを深める。
2. 「自ら考える」ことの必要性を理解し、自分なりの魅力的な女性とは何か、自分らしさを探るヒントとする。
3. 「情報を得る」ことの重要性を知り、教養への興味を深める。
4. 「実践に移す」ことで、自分の変化が顕われることを知る。
5. 「他人の考え」を知ることで、世の中には様々な考え方があり、その中での自分の軸を探る。

内容

身近におこる様々な健康に関する問題を取り上げ、生涯を“生き生きと輝く心とからだ”で生き抜くためにはどうしたらよいか、ともに考え、論じ合う。特に、女性の生き方が、いかに将来の生活に大きく影響するか、その役割と健康な家庭生活の重要性を理解する。またそのために、「自分を知る」ことを授業の根底に流れる目標として、女性である自分に対する理解をより深め、行動し実践して行くことをめざす。（注：遅刻は厳禁。15分以上遅れた場合は欠席とする。）

1	オリエンテーション（健康とは）
2	こころの健康（私たちが健康を感じて行くために）
3	からだの各部位とデータ
4	測定値の検証
5	エネルギー所要量と運動の仕組み
6	運動と栄養（自分の食生活を振り返って）
7	女性のからだとスポーツ（女性のからだのしくみと男女差）
8	リプロダクティブヘルス1（月経、妊娠、人工妊娠中絶）
9	リプロダクティブヘルス2（避妊とSTD-HIV/AIDS他）
10	リプロダクティブヘルス3（不妊治療、出生前診断、更年期障害）
11	内側と外側
12	これまでとこれから（人生設計）
13	依存症（喫煙、アルコール、携帯、その他）
14	危機管理（その予防と対処法）
15	まとめ

評価

毎回授業終了時にその日のまとめを必ず提出する。

平常点50%、学習態度および毎回のまとめ提出10%、課題提出（3回）15%、最終レポート提出25%とし、総合的に評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

基本的にはプリントを配布し、参考資料は授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツと健康		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

保健体育の講義科目である。こころとからだを通じて、「健康」とは何かについて、実感を持って、感じ、考える授業である。

科目の概要

生涯を健康でこころ豊かに過ごせるように、「健康」「スポーツ」「身体活動」「こころ」「からだ」「感覚」などをキーワードに、生活科学として総合的に理解を深める。そのためにまず「自分を知る」ことを目的とし、こころの健康、からだの健康について実感を持って考える。

学修目標

1. 「自分を知る」ことで、自分への気づきを深める。
2. 「自ら考える」ことの必要性を理解し、自分なりの魅力的な女性とは何か、自分らしさを探るヒントとする。
3. 「情報を得る」ことの重要性を知り、教養への興味を深める。
4. 「実践に移す」ことで、自分の変化が顕われることを知る。
5. 「他人の考え」を知ることで、世の中には様々な考え方があり、その中での自分の軸を探る。

内容

身近におこる様々な健康に関する問題を取り上げ、生涯を“生き生きと輝く心とからだ”で生き抜くためにはどうしたらよいか、ともに考え、論じ合う。特に、女性の生き方が、いかに将来の生活に大きく影響するか、その役割と健康な家庭生活の重要性を理解する。またそのために、「自分を知る」ことを授業の根底に流れる目標として、女性である自分に対する理解をより深め、行動し実践して行くことをめざす。（注：遅刻は厳禁。15分以上遅れた場合は欠席とする。）

1	オリエンテーション（健康とは）
2	こころの健康（私たちが健康を感じて行くために）
3	からだの各部位とデータ
4	測定値の検証
5	エネルギー所要量と運動の仕組み
6	運動と栄養（自分の食生活を振り返って）
7	女性のからだとスポーツ（女性のからだのしくみと男女差）
8	リプロダクティブヘルス1（月経、妊娠、人工妊娠中絶）
9	リプロダクティブヘルス2（避妊とSTD-HIV/AIDS他）
10	リプロダクティブヘルス3（不妊治療、出生前診断、更年期障害）
11	内側と外側
12	これまでとこれから（人生設計）
13	依存症（喫煙、アルコール、携帯、その他）
14	危機管理（その予防と対処法）
15	まとめ

評価

毎回授業終了時にその日のまとめを必ず提出する。

平常点50%、学習態度および毎回のまとめ提出10%、課題提出（3回）15%、最終レポート提出25%とし、総合的に評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

基本的にはプリントを配布し、参考資料は授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

物質的な豊かさと便利さをもたらした文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。

「スポーツ」は楽しみながら行うことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲をもたなければならない。その結果、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

学修目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係
 人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進
 生涯スポーツの動機づけ

内容

スポーツを通してたくさんの仲間をつくることを目標にし、各種スポ - ツを実施する。

スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進める。

またストレッチ、ボディメイクエクササイズも行い、爽快感、ストレス解消、気分転換、等をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1回 ガイダンス（授業のねらい・内容説明 等） *更衣の必要はありません

第2回 コミュニケ - ションワ - ク・からだほぐし運動

第3回 ウォ - キングエクササイズ

第4回～第14回

各種スポ - ツの実施

（ストレッチ・ボディメイクエクササイズ・ニュ - スポ - ツ・バレ - ボ - ル・バスケットボ - ル・卓球・テニス・

バドミントン・ドッチボ - ル・サッカー・キックベ - スポ - ル等）

第15回 まとめ

授業内容は当日の天候、施設の状況、受講者数により決定する。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

評価

授業態度50点、授業の記録力 - ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとしている姿勢を20点とし、重要視する。

また、技能のレベルでは評価はしない。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は必要としない。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

物質的な豊かさと便利さをもたらした文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。

「スポーツ」は楽しみながら行うことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲をもたなければならない。その結果、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

学修目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係
 人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進
 生涯スポーツの動機づけ

内容

スポーツを通してたくさんの仲間をつくることを目標にし、各種スポ - ツを実施する。

スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進める。

またストレッチ、ボディメイクエクササイズも行い、爽快感、ストレス解消、気分転換、等をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1回 ガイダンス（授業のねらい・内容説明 等） *更衣の必要はありません

第2回 コミュニケ - ションワ - ク・からだほぐし運動

第3回 ウォ - キングエクササイズ

第4回～第14回

各種スポ - ツの実施

（ストレッチ・ボディメイクエクササイズ・ニュ - スポ - ツ・バレ - ボ - ル・バスケットボ - ル・卓球・テニス・

バドミントン・ドッチボ - ル・サッカー・キックベ - スポ - ル等）

第15回 まとめ

授業内容は当日の天候、施設の状況、受講者数により決定する。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

評価

授業態度50点、授業の記録力 - ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとしている姿勢を20点とし、重要視する。

また、技能のレベルでは評価はしない。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は必要としない。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、グラウンドや屋内、フィールドアスレチックなど、学内の様々な施設を利用することにより、季節を体感しながら、運動を楽しむ。

学修目標

1. 「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。
2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
3. スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように（無理のない程度に）努力する。
4. 和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
5. 卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通じた仲間作りを目標に、フライングディスクをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感するようにする。

第1週 オリエンテーション（授業のねらい、内容説明、運動調査等）

（w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回）

第2週？ 実技（コミュニケーションゲーム）

第4週？ 実技（フライングディスク、ボールゲーム等各種競技など）

第11週？ 実技（リズムエクササイズ、ダンス等）

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

15分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度を含む）60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

見学者は授業内容等（指定用紙）を記入し、毎時提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、
大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、グラウンドや屋内、フィールドアスレチックなど、学内の様々な施設を利用することにより、季節を体感しながら、運動を楽しむ。

学修目標

1. 「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。
2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
3. スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように（無理のない程度に）努力する。
4. 和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
5. 卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通じた仲間作りを目標に、フライングディスクをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感するようにする。

第1週 オリエンテーション（授業のねらい、内容説明、運動調査等）

（w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回）

第2週？ 実技（コミュニケーションゲーム）

第4週？ 実技（フライングディスク、ボールゲーム等各種競技など）

第11週？ 実技（リズムエクササイズ、ダンス等）

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

15分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度を含む）60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

見学者は授業内容等（指定用紙）を記入し、毎時提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	10クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

身体運動を通して、コミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ゆとりある豊かな人生を支えるのはやはり健康である。自らの日常生活の中で感じる心と体の発する“声”に気づき、健康に対する意識を高め、自分のからだを「みつめる」ことにより、心と体の“よみがえり”をめざす。

学修目標

1. 継続的な運動習慣
2. コミュニケーション能力の育成
3. 人間性・感受性を豊かにする
4. 学生生活の活性化および活力増進
5. 生涯スポーツの動機づけ

内容

この授業では、各種スポーツ（内・外球技種目・トレーニング・ダンス等）を通して運動の面白さや楽しさを体験するために「考える」「工夫する」「話し合う」等をグループワーク活動として実践する。また、からだほぐし運動やストレッチ運動・ウォーキングエクササイズを取り入れ、日常生活のストレス解消、気分転換等をこころとからだ全体で実感できるように行う。

1	ガイダンス（授業のねらい・内容説明 等）
2	コミュニケーションワーク 1）からだほぐし運動
3	各種スポーツの実施
4	各種スポーツの実施
5	各種スポーツの実施
6	各種スポーツの実施
7	各種スポーツの実施
8	コミュニケーションワーク 2）ストレッチ運動
9	コミュニケーションワーク 3）ウォーキングエクササイズ
10	各種スポーツの実施
11	各種スポーツの実施
12	各種スポーツの実施
13	各種スポーツの実施
14	各種スポーツの実施
15	まとめ

評価

授業態度50点、授業の記録力 - ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとしている姿勢を20点とし、重要視する。
また、技能のレベルでは評価はしない。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は必要としない。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

物質的な豊かさと便利さをもたらしている文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。「スポーツ」は楽しみながら行なうことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲を持たなければならない。その結果、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

学修目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係
人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進
生涯スポーツへの動機づけ

内容

ハンドボールを中心に様々な競技を体験し、十分な運動量を確保します。天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。毎時間感想を記入しそれを元に出席管理を行います。

1	オリエンテーション、からだほぐし運動
2	ボール慣らし（1）
3	ボール慣らし（2）
4	シュート練習（1）・・・ステップシュート、ジャンプシュート
5	シュート練習（2）
6	コンビネーション練習・・・関係プレーからシュートまで
7	ゲーム（1）
8	ゲーム（2）
9	ゲーム（3）
10	ゲーム（4）
11	ゴール型ボールゲーム（1）
12	ゴール型ボールゲーム（2）
13	ゴール型ボールゲーム（3）
14	ゴール型ボールゲーム（4）
15	まとめ

評価

授業態度60点、実技テスト20点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢20点を重要視します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

初回授業の案内

初回授業は記念ホール入口に集まってください。運動ができる服装で、運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	山本 悟		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育の実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。そして学科や学年を超えた多彩なクラス編成で、身体活動の楽しさを共有するとともに、身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。教員免許や各種資格取得の必修科目にもなっている。

科目の概要

個人で行う運動領域に関する実技を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・バドミントン・なわとび等を4～5週間を単位にして行う。

学修目標

クラス内の交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけるとともに、スポーツを通して獲得した内容を他者に伝えるなど、幅広く活用できることもねらいとする

内容

この科目では、自らの身体を自由に動かす技能を高めることをテーマにして、「ゴルフ」、「バドミントン」、「ソフトバレーボール」、「なわとび運動」に取り組んでみる。恐らく初めての経験となるゴルフの練習を通して、頭で考えながら身体を動かす習慣を身につけ、ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを言葉で表現する意識を高めてほしいと考えている。

こうした活動を繰り返すことにより、目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポでできるようになっていく。それには、動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が重要になる。将来、教職を希望する者には、指導することの意味を考える機会が提供できると考えている。

授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した体操やゲームなどを行い、その後で主要となる運動種目（ゴルフ、バドミントンなど）を学習する形式で進めていく。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。天候に応じて、学習内容を入れ替える場合がある。

第1週 : オリエンテーション

第2～6週 : ゴルフ（基礎技術 ショートゲーム）・鉄棒運動（体力づくり）

第7～10週 : バドミントン・なわとび（体力づくり） 第11～14週 : ソフトバレーボール

第15週 : まとめ

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動（ゲームや試合）の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グラウンドと体育館（アリーナ）とを使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること
毎時間、授業ノート（ルーズリーフ不可）と筆記具を用意すること。
履修人数の上限を40～50名程度とする。

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度）50%、ノート整理（提出2回）25%、レポート25%による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】織田淳太郎『コーチ論』光文社新書

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	平田 智秋		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Rクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技（サッカー、バレー、バスケなど）を中心とした実技を、3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。テーマは「競創」とする。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。

まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカーやバスケットボール、アルティメット
- ・ネット型：インディアカやバレーボール、
- ・混合型：ドッジボールやジャグリング、

これらの中から3～4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Sクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

リズムエクササイズ(リズムに合わせた運動)を中心とした実技を、3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

リズムに合わせた運動をだんだんダンス的に動いたり、
トレーニング的に動くなどして、
からだを引き締めるようにする等、
様々なダンス的身体運動へのアプローチをして行く。

第1週目 オリエンテーション

第2? 5週目 リズムエクササイズ

第6? 7週目 トレーニング的エクササイズ

第8? 10週目 リズムムーブメント

第11? 13週目 ダンスムーブメント

第14? 15週目 まとめ

からだの変化も見るために本人の希望により、測定を入れる可能性もある。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	平田 智秋		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Tクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技（サッカー、バレー、バスケなど）を中心とした実技を、3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。テーマは「競創」とする。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。

まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカーやバスケットボール、アルティメット
- ・ネット型：インディアカやバレーボール、
- ・混合型：ドッジボールやジャグリング、

これらの中から3～4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして、学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

毎回いろいろなレクリエ-ションゲ-ムやニュ-スポ-ツを体験することができる。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

1	ガイダンス（内容・注意事項・評価についての説明） *更衣の必要なし
2	コミュニケーションワ-ク（アイスプレ-キング・ホスピタリティトレ-ニング等）
3	レクリエ-ションゲ-ム
4	レクリエ-ションスポ-ツ *天候・施設状況・受講生の希望により種目を決める
5	＃（フライングディスク・キンポ-ル・ユニホック・インディアカ・スポンジバレ-等）
6	＃
7	＃
8	＃
9	＃
10	＃
11	受講生考案 レクリエ-ションスポ-ツの実施
12	＃
13	＃
14	＃
15	まとめ

評価

授業態度50点、授業の記録力-ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとする姿勢を20点とし、重要視します。また、技能レベルでは評価をしない。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は必要としない。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	佐藤 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして、学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

毎回いろいろなレクリエ-ションゲ-ムやニュ-スポ-ツを体験することができる。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

1	ガイダンス（内容・注意事項・評価についての説明） *更衣の必要なし
2	コミュニケーションワ-ク（アイスプレ-キング・ホスピタリティトレ-ニング等）
3	レクリエ-ションゲ-ム
4	レクリエ-ションスポ-ツ *天候・施設状況・受講生の希望により種目を決める
5	＃（フライングディスク・キンポ-ル・ユニホック・インディアカ・スポンジバレ-等）
6	＃
7	＃
8	＃
9	＃
10	＃
11	受講生考案 レクリエ-ションスポ-ツの実施
12	＃
13	＃
14	＃
15	まとめ

評価

授業態度50点、授業の記録力-ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとする姿勢を20点とし、重要視します。また、技能レベルでは評価をしない。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は必要としない。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	坪倉 紀代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Mクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

身体運動（ゲーム&リズム）

科目の性格

体育実技科目である。受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた“身体を動かすことの楽しさ”を見つけることを支援する中で、学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にしていきたい。

科目の概要

誰でもができる基本的な運動を様々な方法で行うことにより、自分自身のからだの現状を認識し、体力の維持・増進を図り、且つ“遊び”や“気晴らし”としての運動を意識的に自身の生活の中で利用できるようにする。さらに相手の力や体重を利用する、同一のリズムを共有するという体験から仲間との交流・コミュニケーションを図るねらいもあわせもつものである。

学修目標

- ・身体運動を通じてクラスの仲間との円滑なコミュニケーションをはかる
- ・自身のからだ及び仲間のからだに対する変化を敏感にキャッチできるようになる
- ・からだを動かすことの楽しさを発見する

内容

第1回：ガイダンス（平服にて筆記用具持参）

第2回～第5回

- ・仲間づくりゲーム、じゃんけんゲーム、手合わせゲーム、身近材料を利用したゲーム等を通じて楽しみながら身体を動かし、心とからだをほぐす。小筋運動から大筋運動へ、少人数から多人数へとゲームを発展させながら仲間とのコミュニケーションを図る。
- ・フォークダンス（パティケーキ・ポルカ、タンゴ・ミクサー）

第6回～第8回

- ・背骨のローリング運動を中心に、体側、大腿等のストレッチを組み合わせた一連のリズミカルな運動を習得する。
- ・フォークダンス（ネリーグレイ・ミクサー、ロード・トゥ・ディ・アイルス）

第9回～第12回

- ・二人組の運動をもとに身体の器用性、協応性、柔軟性、バランス感覚への刺激をねらいに、相手の体重や力を利用しながら、二人で協力して行う一連のリズミカルな運動を習得する。
- ・フォークダンス（ルムバミクサー、ヒンキー・ディンキー・パーリーブ）

第13・14回

・身体各部位の筋力アップの運動、及びストレッチングとリズムエクササイズ

第15回

まとめ

評価

積極的に仲間とともに動き、その体感を得ることが重要となる。グループワークにおける貢献度、授業への積極性などの平常点(60%)、毎回の授業における自身の理解度、到達度、気付きに関するコメント表の作成とまとめのレポート作成(40%)。三分の二以上出席することで評価を受けることができる。合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Uクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

ラケットスポーツ(主にテニス、卓球)を中心とした実技を、3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

毎回、

W-upはリズムに合わせて行う。

C?dnはストレッチかマッサージのいずれかを行える範囲で行う。

第1週目 オリエンテーション

第2? 7週目 テニス中心

第8週目 トレーニング的エクササイズ

第9? 14週目 卓球中心

第15週目 まとめ

いずれも、できない人は、ゲームができるようになるまで、

できる人は、より上達するように行うことを目標とする。

それぞれが練習方法の工夫により、

高め合えるような手法を考えながら進めて行く。

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

15分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度を含む）60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	渡邊 孝枝		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

フィットネスをクラスの始めに行った後、さまざまなダンスやダンスクリエーションを3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

「美しさ」とは何なのだろうか。

日々の化粧、お洒落。女性は「美しく」いることに一生懸命である。

しかし飾ることに熱中するあまり、自分の「からだ」そのものに無理をさせてはいないだろうか。

このクラスでは、片時も離れることのできない自分の「からだ」を労りながら、今まで気づけなかった「からだ」の感覚や可能性を探ることを目的とする。

そのためにまず、授業の最初に健やかな「からだ」の土台を作るエクササイズを行った後、新たな「からだ」の感覚や可能性を、ダンスやダンス創作において探っていく。

そして、自分の「からだ」への労りや気づきがやがて、仲間の「からだ」への労りや気づきへと繋がって行くことを実感して欲しい。

第1週 オリエンテーション（平服／筆記用具持参）

第2週～第5週

音楽に合わせて身体を動かすことの楽しさを味わう。また、身体を使った様々な「あそび」の中から、踊っているように見える動きを発見し、ダンスへと発展させて行く。

第6週～第9週

「あそび」を通して得たダンスに見える動きの他に、日常の動作やしぐさからもダンスへと発展させて行く。

第10週～第15週

テレビで流れるコマーシャル、映画、音楽など、私たちにとって身近なものの中にダンスがどのような形で存在しているのかを探る。そして、それらをもとに課題を設定し、グループワークや発表などを行う。

第2週以降、毎回クラスの初めにフィットネス（YOGAやクラシックバレエなどを取り入れたエクササイズ）を行い、最後にクールダウン/マッサージなどを取り入れる。

評価

平常点50%（グループワークへの貢献、授業に対する積極性、意欲、態度など）、毎回の授業における理解や気づきに関するコメント表の作成及びまとめのレポート50%、60%以上を合格とする。

なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）？

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	鈴木 康弘		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育の実技科目です。テニスを中心に授業は構成されています。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツを通して学科や学年が異なる受講者の交流が促されることを期待しています。

科目の概要

授業では、初心者がある程度テニスのゲームを楽しめる事ができるようになるためのプログラムを組んでいます。ゲーム形式で楽しみながら、フォアハンドストローク、サーブ、ボレーに関して初歩的な技能を身につけていきます。天候（雨天時）やテニスコートの面数（4面）の都合上、他のラケットスポーツ（バドミントンや卓球）を並行して行う場合があります。

学修目標

1. 仲間との交流を深めながら、協働力や協調性を高めていくこと
2. フォアハンドストローク、サーブ、ボレーの基本的な技能を修得すること
3. ゲームのルールを理解し、テニスのゲームができるようになること

内容

1	ガイダンス（履修上の諸注意等）・班分け
2	ボール慣れ ショートコートでのラリー
3	ボール慣れ ショートコートでのラリー
4	ボレー ショートコートでのミニゲーム
5	ボレー ショートコートでのミニゲーム
6	ボレー ショートコートでのミニゲーム
7	サーブ 3対3のゲーム
8	サーブ 3対3のゲーム
9	ゲーム（ダブルス）
10	ゲーム（ダブルス）
11	ゲーム（ダブルス）
12	ゲーム（ダブルス）
13	ゲーム（ダブルス）
14	ゲーム（ダブルス） ボールコントロールとサーブのテスト
15	ゲーム（ダブルス） ボールコントロールとサーブのテスト

評価

評価は、運動量及び協働力や協調性の達成度（授業への取り組みで評価、60点）、運動の質（実技試験：ボールコントロールとサーブ、30点）3割、ルールやマナーの理解（10点）の観点から総合的に行います。60点以上を合格とします

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書 特に使用しない

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	不老 浩二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことによるこび」を見つけることを支援する。

また、身体活動を通じて学科や学年を超えた多彩なクラス編成メンバー相互が、その楽しさを共有するとともに相互の交流を促す機会とする。

科目の概要

球技における基本的な体の使い方を学ぶことを目的とする。主に、投げる・捕る・打つなどの動きを要するソフトボール（ティーボール）やクラブを用いてボールを叩くゴルフやシャトルを打つバドミントンを実施する。

学修目標

実技で扱う種目の技能を高め、生涯スポーツとして親しめる素地を養う。また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことによるこび」を見つけるとともに、他者との協調などを実技種目を通じて養うことをねらいとする。

内容

「身体運動」では球技における基本的な体の使い方を覚え、より高度な技能を習得しスポーツをより楽しむことをテーマにして、「ソフトボール（ティーボール）」「ゴルフ」「バドミントン」に取り組む。

ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを繰り返し、運動技能を向上させる経験を重ねていく。このような技能を「クローズド・スキル」と称している。こうした活動を繰り返すことにより目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポで出来るようになっていく。

それには動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が重要になる。

将来、教職を希望する者に指導することの意味を考える機会を提供することが出来ると考えている。

授業の始めには準備運動や補強運動などを行い、その後、主運動種目を学習する形式で進めていく。

また、準備運動や補強運動の指導を輪番制で担当する活動も取り入れていく。

天候に応じてソフトボール・ゴルフの代わりにバレーボール・バスケットボール等を行う場合もある。

第1週：オリエンテーション、第2～6週：ソフトボール、

第7～1

1週：ゴルフ、第12～15週：バドミントン

授業ノートは「毎回の授業内容、活動（ゲームや試合）の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることとする。

履修人数の上限を40名程度とする。

天候や授業の震度に応じて、グラウンドと体育館（アリーナ）を使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。

見学者も運動着に着替えて出席すること。

毎時間、授業ノート（ルーズリーフ不可）と筆記用具を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業時に紹介する。）

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	石山 隆之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

この科目は体育の実技であり、学生個々の能力技能にあわせ「運動することの喜び」を感じられるよう授業を進める。さまざまな学科や学年が集まるメンバーとなることから、運動を通じて新たな交流が生まれる機会を積極的につくっていく。

科目の概要

個人スポーツを通じて運動スキルを高めることだけでなく、チームスポーツを通してチームビルディングのプロセスを体験し、コミュニケーション能力の向上も図っていく。

2～3週を単位に1種目のスポーツ実技を行っていく。授業で扱う種目としてはチームスポーツ、個人スポーツ、対人スポーツを軸にレクリエーション的な内容も取り入れる。またW-UP等は受講生自身が指導者となり授業を進め、指導者育成の観点で進め展開していく場合もある。

学習目標

種目を通じて運動のスキルアップをはかり指導方法を獲得することやフィジカルトレーニング的効果の獲得は勿論だが、クラス内でとる良いコミュニケーションを通じて、何よりも楽しく意識的にスポーツに取り組めることを目標とする。また将来年齢を重ねても体を動かすことの喜びを発見できるよう、将来豊かな人生を送る素地を養うこともこの授業の目標とする。

内容

1週 ; 【ガイダンス】 (今後の授業内容、評価について、注意事項など) 平服可

2週～3週 ; 【なわとび】個人スポーツ

コーディネーション、基本の飛び方から技の取得、なわとび検定

4週～5週 ; 【公式テニス】対人スポーツ

ベーシック技術の取得・ダブルスゲーム

6週～8週 ; 【バドミントン】対人スポーツ

基礎技術の取得、シングルゲーム、ダブルスゲーム、リーグ戦

9週～11週 ; 【サッカー・フットサル】チームスポーツ

ボールを使ったコーディネーショントレーニング、基本技術の取得、各種スモールサイトゲーム

12週～14 ; 【卓球・バスケットボール・ゴルフなど】

受講学生の技能、能力に応じて種目を決定し行う

15週 ; 【まとめ】

天候等によっては、グラウンドで行う場合とアリーナで行う場合があるので外履き・体育館履きの両方を必ず準備すること。

運動のできる服装で参加。体調不良等の理由でやむを得ない場合は見学となるが、その際も運動着に必ず着替えること。授業ノートを1冊準備する。「授業の内容と活動記録」「授業の留意点」「感想」を毎時間整理する。筆記用具持参。

評価

平常点（授業に取り組む姿勢・態度・関心）50% / 授業ノートの内容20% / 実技試験やレポート30%

上記による評価を行い、60%以上を合格点とする

授業内で行うゲームの勝敗等については、マイナスの評価はしない

欠席時間が4回を超えると評価を行わない（遅刻2回で、欠席1回とする）

合格点に満たなかった場合は、再試験を行う

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に提示

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	田中 安理		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

ラケットスポーツ（主にテニス、卓球）を中心とした実技を、6週単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

この授業では、卓球・テニス（すなわちラケットスポーツ）のゲームを中心に行う。

授業の始めには、からだをほぐすストレッチ運動を行い、基本的な技術練習を取り入れた後、ミニゲームやシングルス、ダブルスゲームを行う。授業の終わりには、その日の疲労感を残さないようにクールダウンのストレッチを行う。

1	ガイダンス（授業内容の説明、諸注意など） グループ分け		
2	ストレッチ運動	卓球	基本技術練習（持ち方、打ち方）
3	ストレッチ運動	卓球	基本技術練習（乱打、ラリー）
4	ストレッチ運動	卓球	基本技術練習（サービス練習）
5	ストレッチ運動	卓球	ミニゲーム（シングルス・ダブルス）
6	ストレッチ運動	卓球	ゲーム（シングルス）
7	ストレッチ運動	卓球	ゲーム（ダブルス）
8	ストレッチ運動	コミュニケーションワーク	
9	ストレッチ運動	テニス	基本技術練習（持ち方、打ち方）
10	ストレッチ運動	テニス	基本技術練習（乱打、ラリー）
11	ストレッチ運動	テニス	基本技術練習（サービス練習）
12	ストレッチ運動	テニス	ミニゲーム（シングルス・ダブルス）
13	ストレッチ運動	テニス	ゲーム（シングルス）
14	ストレッチ運動	テニス	ゲーム（ダブルス）
15	まとめ（スキルチェック）		

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度を含む）60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	石山 隆之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

この科目は体育の実技であり、学生個々の能力技能にあわせ「運動することの喜び」を感じられるよう授業を進める。さまざまな学科や学年が集まるメンバーとなることから、運動を通じて新たな交流が生まれる機会を積極的につくっていく。

科目の概要

個人スポーツを通じて運動スキルを高めることだけでなく、チームスポーツを通してチームビルディングのプロセスを体験し、コミュニケーション能力の向上も図っていく。

2～3週を単位に1種目のスポーツ実技を行っていく。授業で扱う種目としてはチームスポーツ、個人スポーツ、対人スポーツを軸にレクリエーション的な内容も取り入れる。またW-UP等は受講生自身が指導者となり授業を進め、指導者育成の観点で進め展開していく場合もある。

学習目標

種目を通じて運動のスキルアップをはかり指導方法を獲得することやフィジカルトレーニング的効果の獲得は勿論だが、クラス内でとる良いコミュニケーションを通じて、何よりも楽しく意識的にスポーツに取り組めることを目標とする。また将来年齢を重ねても体を動かすことの喜びを発見できるよう、将来豊かな人生を送る素地を養うこともこの授業の目標とする。

内容

1週 ; 【ガイダンス】 (今後の授業内容、評価について、注意事項など) 平服可

2週～3週 ; 【なわとび】個人スポーツ

コーディネーション、基本の飛び方から技の取得、なわとび検定

4週～5週 ; 【公式テニス】対人スポーツ

ベーシック技術の取得・ダブルスゲーム

6週～8週 ; 【バドミントン】対人スポーツ

基礎技術の取得、シングルゲーム、ダブルスゲーム、リーグ戦

9週～11週 ; 【サッカー・フットサル】チームスポーツ

ボールを使ったコーディネーショントレーニング、基本技術の取得、各種スモールサイトゲーム

12週～14 ; 【卓球・バスケットボール・ゴルフなど】

受講学生の技能、能力に応じて種目を決定し行う

15週 ; 【まとめ】

天候等によっては、グラウンドで行う場合とアリーナで行う場合があるので外履き・体育館履きの両方を必ず準備すること。

運動のできる服装で参加。体調不良等の理由でやむを得ない場合は見学となるが、その際も運動着に必ず着替えること。授業ノートを1冊準備する。「授業の内容と活動記録」「授業の留意点」「感想」を毎時間整理する。筆記用具持参。

評価

平常点（授業に取り組む姿勢・態度・関心）50% / 授業ノートの内容20% / 実技試験やレポート30%

上記による評価を行い、60%以上を合格点とする

授業内で行うゲームの勝敗等については、マイナスの評価はしない

欠席時間が4回を超えると評価を行わない（遅刻2回で、欠席1回とする）

合格点に満たなかった場合は、再試験を行う

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に提示

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	扇原 淳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Nクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技（サッカー、バレー、バスケなど）を中心とした実技を、3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

この授業では、集団球技を中心に実技を進める。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。

まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカー、バスケットボール、ホッケー
- ・ネット型：バレーボール
- ・ベースボール型：ティーボール
- ・混合型：ドッジボール

これらの中から3～4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週，グラウンド用，体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と，自らの気付きを記入する欄があるので，後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し，合計60%以上を合格とする。なお，平常点においては実技への参加態度を重視し，技能レベルや勝敗，記録での評価はしない。なお，欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。？

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	扇原 淳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Pクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技（サッカー、バレー、バスケなど）を中心とした実技を、3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

この授業では、集団球技を中心に実技を進める。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。

まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカー、バスケットボール、ホッケー
- ・ネット型：バレーボール
- ・ベースボール型：ティーボール
- ・混合型：ドッジボール

これらの中から3～4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週，グラウンド用，体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と，自らの気付きを記入する欄があるので，後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し，合計60%以上を合格とする。なお，平常点においては実技への参加態度を重視し，技能レベルや勝敗，記録での評価はしない。なお，欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。？

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	渡邊 孝枝		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Qクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

フィットネスをクラスの始めに行った後、さまざまなダンスやダンスクリエーションを3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

「美しさ」とは何なのだろうか。

日々の化粧、お洒落。女性は「美しく」いることに一生懸命である。

しかし飾ることに熱中するあまり、自分の「からだ」そのものに無理をさせてはいないだろうか。

このクラスでは、片時も離れることのできない自分の「からだ」を労りながら、今まで気づかなかった「からだ」の感覚や可能性を探ることを目的とする。

そのためにまず、授業の最初に健やかな「からだ」の土台を作るエクササイズを行った後、新たな「からだ」の感覚や可能性を、ダンスやダンス創作において探っていく。

そして、自分の「からだ」への労りや気づきがやがて、仲間の「からだ」への労りや気づきへと繋がって行くことを実感して欲しい。

第1週 オリエンテーション（平服／筆記用具持参）

第2週～第5週

音楽に合わせて身体を動かすことの楽しさを味わう。また、身体を使った様々な「あそび」の中から、踊っているように見える動きを発見し、ダンスへと発展させて行く。

第6週～第9週

「あそび」を通して得たダンスに見える動きの他に、日常の動作やしぐさからもダンスへと発展させて行く。

第10週～第15週

テレビで流れるコマーシャル、映画、音楽など、私たちにとって身近なものの中にダンスがどのような形で存在しているのかを探る。そして、それらをもとに課題を設定し、グループワークや発表などを行う。

第2週以降、毎回クラスの初めにフィットネス（YOGAやクラシックバレエなどを取り入れたエクササイズ）を行い、最後にクールダウン/マッサージなどを取り入れる。

評価

平常点50%（グループワークへの貢献、授業に対する積極性、意欲、態度など）、毎回の授業における理解や気づきに関するコメント表の作成及びまとめのレポート50%、60%以上を合格とする。

なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）？

科目名	スポーツ演習		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Vクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

物質的な豊かさと便利さをもたらしている文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。「スポーツ」は楽しみながら行なうことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲を持たなければならない。その結果、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

学修目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係
人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進
生涯スポーツへの動機づけ

内容

ハンドボールを中心に様々な競技を体験し、十分な運動量を確保します。天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。毎時間感想を記入しそれを元に出席管理を行います。

1	オリエンテーション、からだほぐし運動
2	ボール慣らし（1）
3	ボール慣らし（2）
4	シュート練習（1）・・・ステップシュート、ジャンプシュート
5	シュート練習（2）
6	コンビネーション練習・・・関係プレーからシュートまで
7	ゲーム（1）
8	ゲーム（2）
9	ゲーム（3）
10	ゲーム（4）
11	ゴール型ボールゲーム（1）
12	ゴール型ボールゲーム（2）
13	ゴール型ボールゲーム（3）
14	ゴール型ボールゲーム（4）
15	まとめ

評価

授業態度60点、実技テスト20点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢20点を重要視します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

初回授業の案内

初回授業は記念ホール入口に集まってください。運動ができる服装で、運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

科目名	シーズンスポーツ		
担当教員名	山本 悟、平田 智秋、飯田 路佳、千足 耕一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

3泊4日の雪上実習と3回の事前オリエンテーションを通じて、スキーやスノーボードの基礎技術はもとより、集団生活を通じて自律した行動・態度を身につける。

科目の概要

本学湯の丸山荘において、スキーもしくはスノーボードの実習を行う。

学修目標

- 自然との関わりの深いスキーやスノーボードの特性について理解し、その知識と技術を身につける。
- 自然界のすばらしさと厳しさを味わい、生涯を通じて自然に親しむ態度を養う。
- 健康管理への気付き、学年や学科を超えた交流の中から仲間意識を高める。

内容

実習を通じて、以下の技能を体得する；

スキー初級

雪や用具になれる：スキーの着脱、転倒起立、歩行、方向変換、推進滑降、登行
初歩的な滑降：直滑降、プルーク、プルーク・ボーゲン

スキー中級

基本的な構えとスキー操作を学ぶ：斜滑降、横滑り、山回り、プルーク・ターン
リズムとバランス感覚を学ぶ：シュテム・ターンなど

スキー上級

スピードをコントロールし、回転動作を洗練する：パラレル・ステップターン
制限コースや雪質、斜面などへの対応力を高める：制限滑降、深雪滑降

スノーボード初級

装備の着脱、転び方と起き方、スケーティング
リフトの乗り降り、サイドスリップと木の葉落とし（かかと、つま先の両側で）

スノーボード中級

Jターン（かかと、つま先の両方で）。ノーズドロップ
ずらしを利用した連続ターン

スノーボード上級

カービングターン，大回り和小回り

評価

オリエンテーションへの参加と，実習における技能習得や生活態度を総合して評価し，60%以上の評価を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】オリエンテーションで紹介し、推薦する。

（備考）

- ・実施時期：平成25年2月11日（月）～14日（木）3泊4日
- ・実施場所及び宿泊施設：湯の丸スキー場、本学湯の丸山荘
- ・実習参加費（予定）：30,000円（宿泊費・3泊9食、交通費、保険料、リフト代、レンタル代等）
～ウエアのレンタルは無いので、各自で準備が必要
- ・履修登録前にオリエンテーションを開くので、受講希望者は必ず参加すること。
- ・履修人数を30名程度に制限する予定である。

科目名	情報処理演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1．オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2．オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
- 3．インターネットと電子メール
- 4．ワープロソフトの基本操作（文書の作成と管理）
- 5．ワープロソフトの基本操作（文書の編集機能）
- 6．ワープロソフトの応用操作（表やグラフを挿入した文書の作成）
- 7．ワープロソフトの応用操作（ビジュアルな文書の作成）
- 8．論文・レポートの書き方（読みやすいレイアウトの長文作成）
- 9．論文・レポートの書き方（長文の編集と加工）
- 10．プレゼンテーションソフトの基本操作（プレゼンテーション資料の作成）
- 11．プレゼンテーションソフトの応用操作（効果的なプレゼンテーション資料の作成）
- 12．プレゼンテーションの実施
- 13．総合課題演習（文書作成）
- 14．総合課題演習（レポート作成）
- 15．まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

『情報処理の基礎 十文字学園女子大学情報処理基礎共通テキスト』 日経BP社

科目名	情報処理演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール
4	ワープロソフトの基本操作（文書の作成と管理）
5	ワープロソフトの基本操作（文書の編集機能）
6	ワープロソフトの応用操作（表やグラフを挿入した文書の作成）
7	ワープロソフトの応用操作（ビジュアルな文書の作成）
8	論文・レポートの書き方（読みやすいレイアウトの長文作成）
9	論文・レポートの書き方（長文の編集と加工）
10	プレゼンテーションソフトの基本操作（プレゼンテーション資料の作成）
11	プレゼンテーションソフトの応用操作（効果的なプレゼンテーション資料の作成）
12	プレゼンテーションの実施
13	総合課題演習（文書作成）
14	総合課題演習（レポート作成）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	情報処理演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法、クラス分け
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール
4	ワープロソフトの基本操作（文書の作成と管理）
5	ワープロソフトの基本操作（文書の編集機能）
6	ワープロソフトの応用操作（表やグラフを挿入した文書の作成）
7	ワープロソフトの応用操作（ビジュアルな文書の作成）
8	論文・レポートの書き方（読みやすいレイアウトの長文作成）
9	論文・レポートの書き方（長文の編集と加工）
10	プレゼンテーションソフトの基本操作（プレゼンテーション資料の作成）
11	プレゼンテーションソフトの応用操作（効果的なプレゼンテーション資料の作成）
12	プレゼンテーションの実施
13	総合課題演習（文書作成）
14	総合課題演習（レポート作成）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一、石川 敬史		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目では、大学での学習や社会で必要となるコンピュータを中心としたICT活用に関する基礎技術を習得することを目指す。文書作成、プレゼンテーション、インターネット活用などに関する演習を行う。

科目の概要

大学の情報環境の理解、オペレーティングシステムの基本操作、ビジネス文書・論文作成、Web・メールなどインターネットの活用、プレゼンテーションなどを行う。

学修目標

- 1．大学の情報環境が利用できる。
- 2．用途に応じた文書作成をすることができる。
- 3．プレゼンテーションの企画から制作、発表を行うことができる。
- 4．インターネットの適切な利用ができる。

内容

1	大学の情報環境
2	インターネット・電子メール
3	文書作成-文字入力
4	文書作成-編集機能
5	文書作成-レイアウト
6	文書作成-ビジュアル
7	論文・レポートの書き方
8	プレゼンテーションソフトの基本操作
9	プレゼンテーションソフトの応用操作
10	プレゼンテーションの企画・作成
11	基礎課題演習-ビジネス文書
12	基礎課題演習-ビジュアル文書
13	応用課題演習-ソフトの統合利用
14	応用課題演習-データの活用
15	まとめ

評価

テーマ毎の課題の提出物により評価を行い、60%以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】全学共通 情報処理演習用テキスト「情報処理の基礎」日経BP社

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

インターネットや電子メールの概念を理解し、利用できる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	オペレーティングシステムの基本操作とファイル操作
3	インターネットと電子メール
4	ワープロソフトの基本操作（文書の作成と管理）
5	ワープロソフトの基本操作（文書の編集機能）
6	ワープロソフトの応用操作（表やグラフを挿入した文書の作成）
7	ワープロソフトの応用操作（ビジュアルな文書の作成）
8	論文・レポートの書き方（読みやすいレイアウトの長文作成）
9	論文・レポートの書き方（長文の編集と加工）
10	プレゼンテーションソフトの基本操作（プレゼンテーション資料の作成）
11	プレゼンテーションソフトの応用操作（効果的なプレゼンテーション資料の作成）
12	プレゼンテーションの実施
13	総合課題演習（文書作成）
14	総合課題演習（レポート作成）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	情報処理演習		
担当教員名	石川 敬史		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの操作方法およびWebページの作成方法について学習する。

学修目標

- ・表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。
- ・表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。
- ・Webページのしくみを理解する。
- ・基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。

内容

1	表計算ソフトの基本操作 1（表の作成と編集）
2	表計算ソフトの基本操作 2（数式・関数の利用）
3	表計算ソフトの基本操作 3（グラフの作成）
4	表計算ソフトの問題演習 1（数式・関数の活用）
5	表計算ソフトの問題演習 2（目的に応じたグラフの作成）
6	表計算ソフトの応用操作 1（データの並べ替えと抽出）
7	表計算ソフトの応用操作 2（データの集計と分析）
8	Webページの作成 1（基本的なHTMLタグの使い方）
9	Webページの作成 2（画像の配置、リンクの設定）
10	Webページの作成演習 1（サイトの設計）
11	Webページの作成演習 2（サイトの作成）
12	総合課題演習 1（各種集計表の処理）
13	総合課題演習 2（データの整理と分析）
14	応用課題演習（ソフトの統合利用）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	情報処理演習		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの操作方法およびWebページの作成方法について学習する。

学修目標

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。

内容

1	表計算ソフトの基本操作 1（表の作成と編集）
2	表計算ソフトの基本操作 2（数式・関数の利用）
3	表計算ソフトの基本操作 3（グラフの作成）
4	表計算ソフトの問題演習 1（数式・関数の活用）
5	表計算ソフトの問題演習 2（目的に応じたグラフの作成）
6	表計算ソフトの応用操作 1（データの並べ替えと抽出）
7	表計算ソフトの応用操作 2（データの集計と分析）
8	Webページの作成 1（基本的なHTMLタグの使い方）
9	Webページの作成 2（画像の配置、リンクの設定）
10	Webページの作成演習 1（サイトの設計）
11	Webページの作成演習 2（サイトの作成）
12	総合課題演習 1（各種集計表の処理）
13	総合課題演習 2（データの整理と分析）
14	応用課題演習（ソフトの統合利用）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	名児耶 厚		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの操作方法およびWebページの作成方法について学習する。

学修目標

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。

内容

1	表計算ソフトの基本操作 1（表の作成と編集）
2	表計算ソフトの基本操作 2（数式・関数の利用）
3	表計算ソフトの基本操作 3（グラフの作成）
4	表計算ソフトの問題演習 1（数式・関数の活用）
5	表計算ソフトの問題演習 2（目的に応じたグラフの作成）
6	表計算ソフトの応用操作 1（データの並べ替えと抽出）
7	表計算ソフトの応用操作 2（データの集計と分析）
8	Webページの作成 1（基本的なHTMLタグの使い方）
9	Webページの作成 2（画像の配置、リンクの設定）
10	Webページの作成演習 1（サイトの設計）
11	Webページの作成演習 2（サイトの作成）
12	総合課題演習 1（各種集計表の処理）
13	総合課題演習 2（データの整理と分析）
14	応用課題演習（ソフトの統合利用）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目では、情報処理演習 の継続として、大学での学習や社会で必要となるコンピュータを中心としたICT活用に関する基礎技術を習得することを目指す。

科目の概要

表計算ソフトの基礎操作、データ活用と処理、基礎的なWebページ作成を行う。また、総合課題演習として、情報処理や情報活用の総合的な技術を身につける。

学修目標

- 1．表計算ソフトを利用し、データの処理ができる。
- 2．Webページのしくみを理解し、制作することができる。
- 3．適切なソフトを選択して、情報処理・情報活用ができる。

内容

1	表計算ソフトの基本操作-表作成
2	表計算ソフトの基本操作-数式
3	表計算ソフトの基本操作-関数
4	表計算ソフトの応用問題演習-表の編集
5	表計算ソフトの応用問題演習-グラフ作成
6	データ分析の基礎-並べ替え・抽出
7	データ分析の基礎-応用関数
8	Webページ作成基礎-HTML基礎
9	Webページ作成基礎-HTML応用
10	Webページ作成応用-サイトの設計
11	Webページ作成応用-サイトの制作
12	総合課題演習-各種集計表の処理
13	総合課題演習-データの整理と分析
14	総合課題演習-報告書の作成・サイトのビジュアル化
15	まとめ

評価

テーマ毎の課題の提出物により評価を行い、60%以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】全学共通 情報処理演習用テキスト「情報処理の基礎」日経BP社

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

ねらい

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの操作方法およびWebページの作成方法について学習する。

学修目標

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。

内容

1	表計算ソフトの基本操作（表の作成と編集）
2	表計算ソフトの基本操作（数式・関数の利用）
3	表計算ソフトの基本操作（グラフの作成）
4	表計算ソフトの問題演習（数式・関数の活用）
5	表計算ソフトの問題演習（目的に応じたグラフの作成）
6	表計算ソフトの応用操作（データの並べ替えと抽出）
7	表計算ソフトの応用操作（データの集計と分析）
8	Webページの作成（基本的なHTMLタグの使い方）
9	Webページの作成（画像の配置、リンクの設定）
10	Webページの作成演習（サイトの設計）
11	Webページの作成演習（サイトの作成）
12	総合課題演習（各種集計表の処理）
13	総合課題演習（データの整理と分析）
14	応用課題演習（ソフトの統合利用）
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

「情報処理の基礎 - 十文字学園女子大学情報処理基礎共通テキスト - 」 日経BP社

科目名	コンピュータ概説		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、講義科目として、コンピュータのしくみや利用法を学んでいきます。

コンピュータが使用されている製品や、本体のしくみについて改めて学習し、色々な発見をしたり、知識の幅を広げたりすることにより、コンピュータに親しみを覚えていただけたきたいと思います。

皆さんの身近なところには、知らず知らずのうちに、コンピュータシステムを利用したものがたくさんあります。コンピュータシステムを利用した家電製品が家庭の中に広がり、半ば必需品となっています。そして、さまざまは情報通信網を利用した双方向通信の可能なインターネットシステムや、携帯端末など、日常生活には当たり前のように普及しています。一方で、便利さと危険性が隣り合わせでもあり、たくさんの知識も必要とされています。これからは、コンピュータの仕組みなどを知り、ゲームや文章や表計算などのソフトを使うときだけでなく、みなさんの将来的にも、コンピュータ全般の利用価値を高める糸口になれば嬉しいです。

内容

1	私たちを取り巻くコンピュータの環境について
2	コンピュータの種類とコンピュータの簡単な仕組みについて
3	OSやアプリケーション・ソフトウェアの役割について
4	コンピュータを分解して理解する
5	ノートPCや携帯電話を分解し、仕組みを知る
6	情報の流れのしくみと意味を学ぶ
7	地上デジタル放送、テレビのしくみ、放送について理解を深める
8	周辺機器のはたらきについて
9	インターネットの成り立ち、はたらき 電子メール、WWW ホームページの利用について
10	コンピュータの歴史 コンピュータの言葉
11	家電製品のしくみや街のイルミネーションなど身近な電子機器について
12	身の回りにあるコンピュータやネットワークについて
13	インターネットの危険性と回避策について
14	全体の復習
15	まとめ

評価

各回の講義終了時にプリント提出30点、半期で2回のレポート20点、試験50点。総合得点60点以上で合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教材は、授業ごとにプリントを配布。

【参考図書】

米村貴裕 『やさしいIT講座』 新星出版社 『パソコンのしくみ』
山形浩生 監修 『コンピュータ』 日経BP ソフトプレス 『パソコンのしくみ』
山田宏尚 著 『コンピュータのしくみ』 坂村健 『ユビキタスでつくる情報社会基盤』
エクスメディア 『パソコン用語集』 など、必要に応じて授業中に紹介する。

科目名	情報基礎論		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目では、大学での学習や社会で必要となる情報に関する基礎的な知識の習得を目指す。情報処理演習、コンピュータ表現系の科目の基礎となる。

科目の概要

情報とはどのようなものか、コンピュータ内部やインターネット上でやり取りする様々な情報の表現方法について学ぶ。また、コンピュータやネットワークのしくみについて、情報と社会について学ぶ。

学修目標

1. 情報量について理解する。
2. 情報の表現方法・伝達方法を理解する。
3. インターネットやコンピュータのしくみが分かる。

内容

1	情報とは何か
2	情報量とエントロピー
3	2進数
4	文字コード
5	画像のデジタル表現
6	カラー画像のデジタル表現
7	チェックディジット
8	前半のまとめ
9	デジタル情報の記号化
10	サウンドのデジタル化
11	コンピュータのしくみ
12	コンピュータネットワークのしくみ
13	暗号化
14	後半のまとめ
15	全体のまとめ

評価

授業中の提出物30%、試験70%により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、レポートを課す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】使用しない。プリント配布

【参考図書】大村平『情報のはなし』日科技連、久野靖・辰巳丈夫・佐藤義弘『最新情報リテラシー』日経BP社、山川修・田中武之・菊沢正裕『情報リテラシー』森北出版

科目名	情報基礎論		
担当教員名	岡本 泰次		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の一つであり、現在の情報通信技術が発達したデジタル社会において、その仕組みや特性を理解し、情報の価値や利用方法、注意すべきことについて考える。

科目の概要

コンピュータの仕組み、情報を扱う技術、情報通信を支える技術について学ぶ。次に、それらを利用したインターネットやネットワーク上でのサービスについて理解を深める。さらに、ネットワーク上の脅威とそれに対する備え、情報を利用するときの倫理観、情報社会の予想される未来について考える。

学修目標

情報の概念や価値について理解する。

コンピュータの仕組み、情報を扱う技術、情報通信を支える技術を学び、社会でどのように利用されているかを理解する。ネットワーク上の脅威についての知識を深め、情報社会の一員としてのモラルを身につける。

内容

1	現代社会と情報
2	情報の表現（2進数、文字コード、フォント）
3	情報メディア
4	コンピュータの計算の仕組み
5	オペレーティングシステム
6	ネットワークの仕組み
7	インターネットの仕組み
8	インターネットのサービス（Web、電子メール）
9	インターネットのサービス（検索、ソーシャルメディア）
10	ネットビジネス
11	情報システム
12	コミュニケーションツール
13	セキュリティ
14	知的財産の保護、個人の保護
15	まとめ

評価

授業中の小テストおよび提出物（50点）、期末テスト（50点）により評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指示する。

科目名	新入生セミナー		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学習の仕方(スタディ・スキルズ)を学び、大学での学業生活をより豊かに過ごせるようにすることを目的にしている。また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを高めていくこともねらいとしている。

科目の概要

高校までは、どちらかという受動的で「教わること」が多かったが、大学では自分で学習し、自分から求める「自立型の学習」を求められる。本授業では、高校での学びから大学での学びにスムーズに移行できるように、知的活動への動機づけを高め、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしている。

学修目標

グループでの作業を通じて、コミュニケーション能力を高め、かつプレゼンテーションの能力を高めていくことを目標としている。

内容

- 第1回 Webによる履修登録と学内のシステム利用
- 第2回 ワークショップ：グループディスカッション
- 第3回 卒業後の目標設定 (キャリアセンターによる授業)
- 第4回 心と身体健康管理 (健康管理センターによる授業)
- 第5回 情報を収集する(1)(図書館ガイダンス)
- 第6回 情報を収集する(2)インターネットによる情報収集、リストの作成
- 第7回 スタディ・スキルズとは：ノート・テイキング、リーディング
- 第8回 アカデミック・ライティング(1)：レポートの作成、脚注、参考文献など
- 第9回 アカデミック・ライティング(2)：表やグラフを使用したレポート
- 第10回 プレゼンテーションの技法(1)：レジュメの作り方、パワーポイントの作成
- 第11回 プレゼンテーションの作成(1)：グループに分かれ発表資料の作成
- 第12回 プレゼンテーションの作成(2)：グループに分かれ発表資料の作成
- 第13回 中間発表
- 第14回 プレゼンテーションの発表(1)
- 第15回 プレゼンテーションの発表(2)

評価

毎回の授業時の課題(40%)、プレゼンテーション(60%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

学習技術研究会『知へのステップ 改訂版』くろしお出版

科目名	新入生セミナー		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学習の仕方(スタディ・スキルズ)を学び、大学での学業生活をより豊かに過ごせるようにすることを目的にしている。また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを高めていくこともねらいとしている。

科目の概要

高校までは、どちらかという受動的で「教わること」が多かったが、大学では自分で学習し、自分から求める「自立型の学習」を求められる。本授業では、高校での学びから大学での学びにスムーズに移行できるように、知的活動への動機づけを高め、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしている。

学修目標

グループでの作業を通じて、コミュニケーション能力を高め、かつプレゼンテーションの能力を高めていくことを目標としている。

内容

1	Webによる履修登録と学内のシステム利用
2	ワークショップ：グループディスカッション
3	卒業後の目標設定(キャリアセンターによる授業)
4	心と体の健康管理(健康管理センターによる授業)
5	情報を収集する(1)(図書館によるガイダンス)
6	情報を収集する(2)インターネットによる情報収集、リストの作成
7	スタディ・スキルズとは：ノート・テイキング、リーディング
8	アカデミック・ライティング(1)レポートの作成、脚注、参考文献など
9	アカデミック・ライティング(2)表やグラフを使用したレポート
10	プレゼンテーションの技法(1)：レジユメの作り方、パワーポイントの作成方法
11	プレゼンテーションの作成(1)：グループに分かれ発表資料の作成
12	プレゼンテーションの作成(2)：グループに分かれ発表資料の作成
13	中間発表
14	プレゼンテーションの発表(1)
15	プレゼンテーションの発表(2)

評価

毎回の授業時の課題(40%)、プレゼンテーション(60%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	新入生セミナー		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は次の2つの側面から大学での学びに入るための橋渡しをすることを目的とする。1つめは、現在の自分の状況を把握したうえで将来なりたい自分について自らの言葉で表現し、他者に伝えることを通して、自己を再発見し、将来のキャリア形成の土台を作ること、すなわち、スチューデント・ソシアルスキルを身につけることである。2つめは、情報を収集する、読み解く、分析する、論理的な文章で他者に伝えるという技術、すなわち、2年次以降の専門科目で必要となってくるスタディスキルを身につけることである。当然のことながら、この2つの側面は相互に関連し、融合し合いながら、コミュニケーション能力と自ら探究する「能動型の学習姿勢」を高めていくことになる。

内容

1	履修指導
2	アクティブ・ラーニング(1): コミュニケーション能力の基礎
3	アクティブ・ラーニング(2): グループワーク
4	アクティブ・ラーニング(3): プレゼンテーション
5	学習計画
6	情報を理解する
7	情報を収集する
8	情報を整理する
9	情報を分析する
10	情報をまとめる
11	情報を発信する
12	レポート提出準備
13	キャリアを意識する
14	健康管理
15	まとめ

評価

レポート(全部で100点満点)を課し、60点以上を合格とする。

課題レポートは、授業時に提出を求める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

初年次教育テキスト編集委員会 『フレッシュマンセミナー・テキスト - 大学新入生のための学び方ワークブック』 東京電機大学出版局 2010年

科目名	新入生セミナー		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は次の2つの側面から大学での学びに入るための橋渡しをすることを目的とする。1つめは、現在の自分の状況を把握したうえで将来なりたい自分について自らの言葉で表現し、他者に伝えることを通して、自己を再発見し、将来のキャリア形成の土台を作ること、すなわち、スチューデント・ソシアルスキル身につけることである。2つめは、情報を収集する、読み解く、分析する、論理的な文章で他社に伝えるという技術、すなわち、2年次以降の専門科目で必要となってくるスタディスキルを身につけることである。当然のことながら、この2つの側面は相互に関連し、融合し合いながら、コミュニケーション能力と自ら探究する「能動型の学習姿勢」を高めていくことになる。

内容

1時間管理・アサーティブなコミュニケーション

2 アクティブ・ラーニング(1)

3 アクティブ・ラーニング(2)

4 キャリアSPI

5 講義とノート(1)

6講義とノート(2)

7情報収集(1)

8情報収集(2)

9 リーディング(1)

10 リーディング(2)

11 ライティング(1)

12 ライティング(2)

13 ライティング(3)

14 ディスカッション(1)

15 ディスカッション(2)

評価

課題・レポート(全部で100点満点)を課し、60点以上を合格とする。

課題・レポートは、授業時に提出を求める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書: 中澤務・森貴史・本村康哲編, 『知のナビゲーター』, くろしお出版, 1800円.

推薦書: 松本茂・河野哲也, 『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』, 玉川大学出版部, 1470円.

科目名	新入生セミナー		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は次の2つの側面から大学での学びに入るための橋渡しをすることを目的とする。1つめは、現在の自分の状況を把握したうえで将来なりたい自分について自らの言葉で表現し、他者に伝えることを通して、自己を再発見し、将来のキャリア形成の土台を作ること、すなわち、スチューデント・ソシアルスキル身につけることである。2つめは、情報を収集する、読み解く、分析する、論理的な文章で他社に伝えるという技術、すなわち、2年次以降の専門科目で必要となってくるスタディスキルを身につけることである。当然のことながら、この2つの側面は相互に関連し、融合し合いながら、コミュニケーション能力と自ら探究する「能動型の学習姿勢」を高めていくことになる。

内容

1時間管理・アサーティブなコミュニケーション

2 アクティブ・ラーニング(1)

3 アクティブ・ラーニング(2)

4 キャリアSPI

5 講義とノート(1)

6講義とノート(2)

7情報収集(1)

8情報収集(2)

9 リーディング(1)

10 リーディング(2)

11 ライティング(1)

12 ライティング(2)

13 ライティング(3)

14 ディスカッション(1)

15 ディスカッション(2)

評価

課題・レポート(全部で100点満点)を課し、60点以上を合格とする。

課題・レポートは、授業時に提出を求める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書: 中澤務・森貴史・本村康哲編, 『知のナビゲーター』, くろしお出版, 1800円.

推薦書: 松本茂・河野哲也, 『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』, 玉川大学出版部, 1470円.

科目名	新入生セミナー		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は次の2つの側面から大学での学びに入るための橋渡しをすることを目的とする。1つめは、現在の自分の状況を把握したうえで将来なりたい自分について自らの言葉で表現し、他者に伝えることを通して、自己を再発見し、将来のキャリア形成の土台を作ること、すなわち、スチューデント・ソシアルスキル身につけることである。2つめは、情報を収集する、読み解く、分析する、論理的な文章で他社に伝えるという技術、すなわち、2年次以降の専門科目で必要となってくるスタディスキルを身につけることである。当然のことながら、この2つの側面は相互に関連し、融合し合いながら、コミュニケーション能力と自ら探究する「能動型の学習姿勢」を高めていくことになる。

内容

1	時間管理・アサーティブなコミュニケーション
2	アクティブ・ラーニング(1)
3	アクティブ・ラーニング(2)
4	キャリアSPI
5	講義とノート(1)
6	講義とノート(2)
7	情報収集(1)
8	情報収集(2)
9	リーディング(1)
10	リーディング(2)
11	ライティング(1)
12	ライティング(2)
13	ライティング(3)
14	ディスカッション(1)
15	ディスカッション(2)

評価

課題・レポート(全部で100点満点)を課し、60点以上を合格とする。

課題・レポートは、授業時に提出を求める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書: 中澤務・森貴史・本村康哲編、『知のナビゲーター』, ころしお出版, 1800円.

推薦書: 松本茂・河野哲也, 『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』, 玉川大学出版部, 1470円.

科目名	新入生セミナー		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は次の2つの側面から大学での学びに入るための橋渡しをすることを目的とする。

1つめは、現在の自分の状況を把握したうえで将来なりたい自分について自らの言葉で表現し、他者に伝えることを通して、自己を再発見し、将来のキャリア形成の土台を作ること、すなわち、スチューデント・ソシアルスキル身につけることである。

2つめは、情報を収集する、読み解く、分析する、論理的な文章で他社に伝えるという技術、すなわち、2年次以降の専門科目で必要となってくるスタディスキルを身につけることである。当然のことながら、この2つの側面は相互に関連し、融合し合いながら、コミュニケーション能力と自ら探究する「能動型の学習姿勢」を高めていくことになる。

内容

1	時間管理・アサーティブなコミュニケーション
2	アクティブ・ラーニング(1)
3	アクティブ・ラーニング(2)
4	キャリアSPI
5	講義とノート(1)
6	講義とノート(2)
7	情報収集(1)
8	情報収集(2)
9	リーディング(1)
10	リーディング(2)
11	ライティング(1)
12	ライティング(2)
13	ライティング(3)
14	ディスカッション(1)
15	ディスカッション(2)

評価

課題・レポート(全部で100点満点)を課し、60点以上を合格とする。

課題・レポートは、授業時に提出を求める。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書: 中澤務・森貴史・本村康哲編, 『知のナビゲーター』, くらしお出版, 1800円

推薦書: 松本茂・河野哲也, 『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』, 玉川大学出版部, 1470円

科目名	基礎英語		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、3レベル（初級・中級・上級）のうちの初級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

基礎英語Ⅰでは、入学時のプレースメントテストにより3レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

易しい英文を読みながら、英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます（順不同）。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1. 文の要素、2. 文型、3. 単文・重文・複文、4. 動詞、5. 時制

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験： 60%
- (2) 平常点： 40% （単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

(初級クラス) T. Kiggell and K. Muto, Prism (red) -Second Edition-, MacMillan Language House, 1600円.

+ 文法用プリントは別途授業内で配布します

科目名	基礎英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、社会情報学部1年次必修外国語科目のひとつで、2011年度以降に入学した学生のための人間生活学部「外国語I（英語）」の前期分と同時に授業を行います。今年度のメディアコミュニケーション1年生向けの「外国語I（英語）」は3レベルに分かれ、このクラスは其中最上級のクラスですから、2010年度以前の入学時のクラス分けて、2レベルのうちのできる方のクラスだった人は、このクラスで再履修して下さい。

さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、やや発展的な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型など、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。第7週に教科書の最初の3ユニット分から中間のまとめをする予定です。

指定教科書は、1つの物語を読み進める中で、文法事項を縦断的におさらいできるようになっています。

1	Unit 1 Andの用法、読み物「卑弥呼の鏡」
2	Unit 1 前回の復習とUnit 1の仕上げ
3	Unit 2 8品詞と句・節、読み物「水野教授」
4	Unit 2 前回の復習とUnit 2の仕上げ
5	Unit 3 照応語句、読み物「ESSクラブの幽霊」
6	Unit 3 前回の復習とUnit 3の仕上げ
7	まとめ1
8	Unit 4 ~ingの用法、読み物「ESSクラブの幽霊」・「夢遊病」
9	Unit 4 前回の復習とUnit 4の仕上げ
10	Unit 5 Thatの用法、読み物「イユーと叫ぶ子たち」
11	Unit 5 前回の復習とUnit 5の仕上げ
12	Units 5+6 進度調整と5文型
13	Unit 6 第五文型、読み物「オハラ探偵」・「緑のサングラスに隠れた男」
14	Unit 6 前回の復習とUnit 6の仕上げ
15	まとめ2

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。

(1) まとめの成果： 60%

(2) 平常点： 40% （単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[教科書] 宮田学 / Thomas Bauerle 著、_A Mystery for Practical Grammar_ (ミステリを読んで文法力を磨こう)、三修社

科目名	基礎英語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ～ （英語）」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 （英語・フランス語・スペイン語・中国語）」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

外国語 （英語）では、入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます（順不同）。

1. 文の基本要素
2. be動詞（平叙文・否定文・疑問文）
3. 一般動詞（平叙文・否定文・疑問文）
4. wh疑問文
5. 名詞・冠詞
6. 代名詞
7. 進行形（平叙文・否定文・疑問文）
8. 助動詞
9. 形容詞・副詞
10. 比較
11. 命令文
12. 接続詞
13. 関係代名詞
14. 接続詞

また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

上記にあげた文法項目を、指定の教科書のユニットに沿って、次のスケジュールで学習します。

前期（第1～15週） 後期（第16～30週）

第1週 Introduction 第2週 Unit1 第3週 Unit2 第4週 Unit3 第5週 Unit4

第6週 Unit5 第7週 Unit6 第8週 Unit7 第9週 Unit8 第10週 Unit9

第11週 Unit10 第12週 Unit11 第13週 Unit12 第14週 総復習(1) 第15週 総復習(2)

第16週 総復習(3) 第17週 Unit13 第18週 Unit14 第19週 Unit14(2) 第20週 Unit15

第21週 Unit16 第22週 Unit17(1) 第23週 Unit17(2) 第24週 Unit18(1) 第25週 Unit18(2)

第26週 Unit19(1) 第27週 Unit19(2) 第28週 Unit20 第29週 総復習(4) 第30週 総復習(5)

評価

以下の割合で点数化し、60パーセント以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 前期・後期試験：60パーセント

(2) 平常点： 40 パーセント（単語テスト[毎週]、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

（生活情報初級クラス）

【教科書】佐藤哲三他著 『基礎からの英語入門（改定新版） First Primer』南雲堂

【参考図書・辞書等】 授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの上級クラスです。昨年度の基礎英語Iの単位を取れなかった学生は昨年度のクラスレベルに従って、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

基礎英語Iでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標としたうえで、この上級クラスでは、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また、語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1	授業説明/文の基本要素
2	Be動詞（現在形）
3	命令文
4	一般動詞（現在形）
5	現在進行形
6	Be動詞/一般動詞（過去形）
7	過去進行形
8	現在完了
9	受動態
10	will/be going to
11	助動詞
12	Wh-疑問文
13	前期の復習 1
14	前期の復習 2
15	まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験： 60%

(2) 平常点： 40%（単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】Robert Hickling, 市川泰弘 『Reading Sense 大学英文法と読解の基本演習』 金星堂

【参考図書・辞典等】授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの上級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

この科目は英語発信・受信するばあいに必要となる英語の構造知識（文法・語法）を整理、復習します。さらに同時に、英語の総合力のために語彙力、読解力に加え、英文を書く力と聴き取る力を養成します

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1. Introduction（導入説明）
2. Deep Trouble（動詞：be動詞と一般動詞）
3. From the Heart（疑問文）
4. Housemates（名詞や冠詞）
5. mystery in Muscat（代名詞）
6. Studio Five（進行形）
7. True Heroes of Sports（助動詞）
8. The Drive to new York(形容詞と副詞)
9. A Close Shave（比較）
10. White Fang（不定詞、分詞、動名詞）
11. The Curious Case of Benjamin（命令）
12. Weddings（受動態）
13. Far from the Crowd（完了表現）
14. Typhoon（前置詞や接続詞）
15. まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60％以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験： 60%
- (2) 平常点： 40%（単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

十文字学園女子大学用プリント（森田勝之、授業中に配布）

科目名	基礎英語		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、3レベル（初級・中級・上級）のうちの中級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易で少し長めの英文を読みとる力と短文が書ける力を養成します。

基礎英語Ⅰでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは語彙力、平易で少し長めの英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます（順不同）。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

- ・文の基本要素
- ・be動詞（平叙文・否定文・疑問文）
- ・一般動詞（平叙文・否定文・疑問文）
- ・wh疑問文
- ・名詞・冠詞
- ・代名詞
- ・進行形（平叙文・否定文・疑問文）
- ・助動詞
- ・形容詞・副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞
- ・疑問文
- ・前置詞
- ・接続詞

評価

評価 以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験： 60%

(2) 平常点： 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト 北山長貴他 English Makeover (リーディングのための英文法演習) 1800円

参考書、辞典等 授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、社会情報学部の必修科目「基礎英語II」の再履修者のためのものですので、2010年度以前に入学し、「基礎英語II」の単位が取れていない学生は必ず全員履修してください。

(2010年度以前入学生の必修科目「基礎英語II, IV」は、聴く、話す能力を重点的に強化することを目標としていました。同じく必修科目の「基礎英語I, III」は読む、書く能力に力点を置いたもので、基礎英語IからIVを履修することによって英語の4技能を身に付けることができるようになっていました。)

この授業は、リスニング、スピーキング力を重点的に強化することを目標として、日常生活に必要な程度の基本的なリスニング、スピーキング能力の養成を目指します。

内容

第1回：オリエンテーション

前期で使用する音声配布や授業の進め方などの重要な説明がありますので、必ず出席すること。

第2回～第13回：

毎回リスニング・ディクテーションの演習を行います。翌週には前週の復習小テストを行います。

第14,15回：まとめと全体の復習

評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

定期試験： 50%

平常点： 50% （復習の小テスト（単語・リスニング・スピーキング、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

第1回目の授業で指示します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	佐藤 里野		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3,4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ～ （英語）」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 （英語・フランス語・スペイン語・中国語）」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

外国語 （英語）では、入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます（順不同）。

1. 文の基本要素 2. be動詞（平叙文・否定文・疑問文） 3. 一般動詞（平叙文・否定文・疑問文）
4. wh疑問文 5. 名詞・冠詞 6. 代名詞 7. 進行形（平叙文・否定文・疑問文） 8. 助動詞
9. 形容詞・副詞 10. 比較 11. 命令文 12. 接続詞 13. 関係代名詞 14. 接続詞

また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

上記にあげた文法項目を、指定の教科書のユニットに沿って、次のスケジュールで学習します。

前期（第1～15週） 後期（第16～30週）

第1週 Introduction 第2週 Unit1 第3週 Unit2 第4週 Unit3 第5週 Unit4

第6週 Unit5 第7週 Unit6 第8週 Unit7 第9週 Unit8 第10週 Unit9

第11週 Unit10 第12週 Unit11 第13週 Unit12 第14週 総復習(1) 第15週 総復習(2)

第16週 総復習(3) 第17週 Unit13 第18週 Unit14 第19週 Unit14(2) 第20週 Unit15

第21週 Unit16 第22週 Unit17(1) 第23週 Unit17(2) 第24週 Unit18(1) 第25週 Unit18(2)

第26週 Unit19(1) 第27週 Unit19(2) 第28週 Unit20 第29週 総復習(4) 第30週 総復習(5)

評価

以下の割合で点数化し、60パーセント以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 前期・後期試験：60パーセント

(2) 平常点： 40 パーセント（単語テスト[毎週]、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

（生活情報初級クラス）

【教科書】佐藤哲三他著 『基礎からの英語入門（改定新版） First Primer』南雲堂

【参考図書・辞書等】 授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの上級クラスです。昨年度の基礎英語IIIの単位を取れなかった学生は昨年度のクラスレベルに従って、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

基礎英語IIIでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標としたうえで、この上級クラスでは、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また、語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1	可算名詞/不可算名詞
2	冠詞
3	形容詞
4	形容詞の比較級/最上級
5	場所や移動を表す前置詞
6	時を表す前置詞
7	副詞
8	不定詞
9	動名詞
10	接続詞（接続詞）
11	従位接続詞
12	関係節
13	後期の復習 1
14	後期の復習 2
15	まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験： 60%

(2) 平常点： 40%（単語（毎週）テスト、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】Robert Hickling, 市川泰弘 『Reading Sense 大学英文法と読解の基本演習』 金星堂

【参考図書・辞典等】授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの上級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

この科目は英語発信・受信するばあいに必要となる英語の構造知識（文法・語法）を整理、復習します。さらに同時に、英語の総合力のために語彙力、読解力に加え、英文を書く力と聴き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1. Introduction（導入説明）
2. Happy Anniversary Lunch（動詞：be動詞と一般動詞の復習）
3. Moral: Money is as slippery（疑問文の復習）
4. Learning in School（名詞や冠詞の復習）
5. The Sacred Cows（代名詞の復習）
6. A Stutter Writes to a Former teacher（進行形の復習）
7. Professors Learn to Read（助動詞の復習）
8. The Class Management（形容詞と副詞の復習）
9. For June Graduates（比較の復習）
10. The Sudden Handicap（不定詞、分詞、動名詞の復習）
11. The Bandit Had Brown Hair（命令の復習）
12. Cues for the Common Cold（受動態の復習）
13. Inflation Hits the Campuses（完了表現の復習）
14. Who? Me?（前置詞や接続詞の復習）
15. まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 後期試験： 60%
- (2) 平常点： 40%（単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

十文字学園女子大学用プリント（森田勝之、授業中に配布）

科目名	基礎英語		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、3レベル（初級・中級・上級）のうちの初級クラスです。昨年度の基礎英語IIIの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

基礎英語Iでは、入学時のプレースメントテストにより3レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

易しい英文を読みながら、英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます（順不同）。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1. 動詞、2. 不定詞、3. 受動態、4. 関係代名詞、5. 分詞

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験： 60%
- (2) 平常点： 40% （単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

（上級クラス）T. Kiggell and K. Muto, Prism (red) -Second Edition-, MacMillan Language House, 1,600円.

+ 文法用プリントは別途授業内で配布します

科目名	基礎英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、社会情報学部1年次必修外国語科目のひとつで、2011年度以降に入学した学生のための人間生活学部「外国語I（英語）」の前期分と同時に授業を行います。今年度のメディアコミュニケーション1年生向けの「外国語I（英語）」は3レベルに分かれ、このクラスは其中最上級のクラスですから、2010年度以前の入学時のクラス分けて、2レベルのうちのできる方のクラスだった人は、このクラスで再履修して下さい。

さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、やや発展的な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型など、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。第7週に教科書の3ユニット分から中間のまとめをする予定です。

指定教科書は、1つの物語を読み進める中で、文法事項を縦断的におさらいできるようになっています。

1	Unit 7 過去完了形の用法、読み物「ESSパーティーにて」・「榊原教授」
2	Unit 7 前回の復習とUnit 7の仕上げ
3	Unit 8 準動詞の用法、読み物「加藤教授の部屋」
4	Unit 8 前回の復習とUnit 8の仕上げ
5	Unit 9 Itの用法、読み物「幽霊ふたたび」
6	Unit 9 前回の復習とUnit 9の仕上げ
7	まとめ1
8	Unit 10 接続詞の用法、読み物「追跡」
9	Unit 10 前回の復習とUnit 10の仕上げ
10	Unit 11 5W1H、読み物「オハラ探偵の話」・「結末（1）」
11	Unit 11 前回の復習とUnit 11の仕上げ
12	Units 11+12 進度調整と反復練習
13	Unit 12 総復習、読み物「結末（2）」・「箱の中」
14	Unit 12 前回の復習とUnit 12の仕上げ
15	まとめ2

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。

(1) まとめの成果： 60%

(2) 平常点： 40% （単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[教科書] 宮田学 / Thomas Bauerle 著、_A Mystery for Practical Grammar_ (ミステリを読んで文法力を磨こう)、三修社

科目名	基礎英語		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、3レベル（初級・中級・上級）のうちの中級クラスです。昨年度の基礎英語Ⅰの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易で少し長めの英文を読みとる力と短文が書ける力を養成します。

基礎英語Ⅰでは、入学時のプレイスメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは語彙力、平易で少し長めの英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます（順不同）。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

- ・文の基本要素
- ・be動詞（平叙文・否定文・疑問文）
- ・一般動詞（平叙文・否定文・疑問文）
- ・wh疑問文
- ・名詞・冠詞
- ・代名詞
- ・進行形（平叙文・否定文・疑問文）
- ・助動詞
- ・形容詞・副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞
- ・疑問文
- ・前置詞

・接続詞

評価

評価 以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験： 60%

(2) 平常点： 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト 北山長貴他 English Makeover (リーディングのための英文法演習) 1800円

参考書、辞典等 授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は社会情報学部の必修科目「基礎英語Ⅳ」の再履修者のためのものですので、2010年度以前に入学し「基礎英語Ⅳ」の単位が取れていない学生は、必ず全員履修してください。

（2010年度以前入学生の必修科目「基礎英語Ⅱ，Ⅳ」は、聴く、話す能力を重点的に強化することを目標としていました。同じく必修科目の「基礎英語Ⅰ，Ⅲ」は読む、書く能力に力点を置いたもので、基礎英語ⅠからⅣを履修することによって英語の4技能を身に付けることができるようになっていました。）

この授業は、リスニング、スピーキング力を重点的に強化することを目標として、日常生活に必要な程度の基本的なリスニング、スピーキング能力の養成を目指します。

内容

第1回：オリエンテーション

前期で使用する音声配布や授業の進め方などの重要な説明がありますので、必ず出席すること。

第2回～第13回：

毎回リスニング・ディクテーションの演習を行います。翌週には前週の復習小テストを行います。

第14,15回：まとめと全体の復習

評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。

定期試験： 50%

平常点： 50% （復習の小テスト（単語・リスニング・スピーキング、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

第1回目の授業で指示します。

科目名	ホームステイの英語		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

Students will learn what is involved in having a homestay abroad. They will learn practical English skills that they can use to communicate with people from other countries and with a host family.

内容

Introductions
 Holidays
 I Have a Dream
 First day in America
 Make Yourself at Home
 Help Yourself
 Everybody's got a Job
 It's 50% Off
 Cooking is Easy
 Weekend Fun
 A Day to Celebrate
 How Are Classes Going?
 You'll Like this Place!
 I'll Miss You
 Evaluation

評価

Grades will be based on course work (15%), homework exercises (15%), a short presentation in pairs (50%), and an oral-based interview (20%).

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Getting Ready To Go! Homestay Adventures by Dale Fuller/Kevin Cleary
 MacMillan Language House

科目名	TOEIC準備講座		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

基本的な文法の運用力(Grammatical Competence)をつけ、場面や状況による応答能力(Sociolinguistic Competence)もある程度つける段階までが目安です。このため、500点以上が受容(receptive)能力の最高位に位置すると考えられます。このため、基礎力に穴が無いが再点検する必要があります。それは、英語の運用を考えれば、やっと到達できるTOEICではなく、さらに高得点につながる点数でなければ意味がないからです。

内容

1. 導入TOEIC600点の正答率と他の試験との比較
2. リスニングパート(1)写真
3. リスニングパート(2)会話
4. リスニングパート(3)説明
5. リスニングパートまとめ
6. 語彙(1)認知語彙
7. 語彙(2)運用語彙
8. 語彙(3)まとめ
9. リーディング(1)新聞
10. リーディング(2)広告
11. リーディング(3)説明
12. リーディング(4)図解
13. ライティング(1)
14. ライティング(2)
15. チェック

評価

毎回の小テスト(30%)、最終日の総チェックテスト

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

森田勝之著 The TOEIC test Target 500 and Beyond、金星堂

科目名	TOEIC準備講座		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、英語能力試験の一つであるTOEICテスト受験のための、準備クラスです。

文法、リスニング、読解を総合的に学習して、実用的な英語運用能力を向上させ、TOEICテストに対応できる力を養成します。

テストで、400点以上のスコア取得を目指します。

内容

TOEICテストの出題形式に沿ったリスニングとリーディングの練習問題に取り組み、ポイントとなる点に解説を加えていきます。また、各課ごとに、基本的な文法事項の確認も行います。知識の定着を図るために、授業で使用するテキストから隔週で文法と語彙に関する小テストを実施します。授業には積極的に参加し、予習・復習を行うようにしてください。

1	Living Arrangements 「自動詞/他動詞」
2	Entertainment 「時制」
3	Traffic and Transportation 「能動態/受動態」
4	Travel 「助動詞」
5	Office Work 「不定詞/動名詞」
6	Marketing 「現在分詞/過去分詞」
7	Purchasing 「類義語」
8	Technology 「長文穴埋め問題」
9	Personnel 「類義語」
10	Finance and Money 「関係詞」
11	News Media 「関係詞」
12	Press Release 「接続詞/前置詞」
13	Research 「接続詞/前置詞」
14	Environment 「長文穴埋め問題」
15	まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1)期末試験： 60%

(2)平常点： 40% (授業への参加度・小テスト・課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】上條武, Braven Smillie著『BEST SHOT FOR THE TOEIC TEST TOEICテスト攻略への最短アプローチ』金星堂

【参考図書・辞典等】授業で適宜紹介します。

科目名	英検準備講座 A		
担当教員名	榊原 理枝子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1 ねらい

科目の性格

この科目は共通科目の外国語科目の中の選択科目です。

英検準2級合格を目指し、その過程で基本的な英語力の復習と確認をし、日常生活に必要な程度の、聞く・書く・話す・読む能力を身に付け、企業が求める英語力の基礎を築きます。

科目の概要および 学修目標

- (1)卒業後の進路や就職活動に向けて自分の価値を高めたい。
- (2)努力して何かを成し遂げる能力があるという根拠ある自信が欲しい。
- (3)英語が得意でない。

どれかに当てはまる人は、英検準2級を目指してみてもいいでしょうか？

英検準2級で問われるのは、日常生活に必要な英語力です。試験では、聴く・書く・話す・読む能力が試されます。

内容

英検2級合格を目指すことによって、これまでの英語の勉強の復習、確認をすることができますし、英語に苦手意識を持っている人は、それを克服して準2級合格という結果を残せば、大きな自信となるはずです。

英検2級に合格すれば、その後は、英検2級を目指すなり、準2級対策で培った基礎力をもとにTOEICを目指すなり、それぞれの人生のプランに沿った方向性を考えることができます。

授業で使うのは、英検準2級過去問と予想問題で構成された教科書です。出題形式に慣れつつ、合格に必要な、聴く・書く・話す・読む能力を身に付けていきます。

- (1)基本的なことでも何でも分からないことは言ってください。(2)習熟度や必要に応じて、プリントを利用することもあります。(3)原則として毎回小テスト(所要時間5分から10分)を行います。授業内容が理解できていて、復習をしていればできるテストです。(4)2,3週に一度、語句、文法などの復習テスト(所要時間10分から20分)を行います。(5)読解問題やリスニング問題などの課題を時々出します。【(3)(4)(5)は受講生の様子を見ながら適宜行います。】 これら(3)(4)(5)、その他授業への参加度が平常点に入ります。
- (6)前期試験を実施し、返却して解説します。

第1回・・・オリエンテーション (以下、授業進行予定ですが、変更の可能性もあります。第1回のオリエンテーションで詳しいことはお話しします。) 第2回: Lesson 1 第3回: Lesson 2, Lesson 3(1)

第4回: Lesson 3(2), Lesson 4 第5回: Lesson 5, Lesson 6(1)
第6回: Lesson 6(2), Lesson 7 第7回: Lesson 8, Lesson 9(1) 第8
回: Lesson 9(2), Lesson 10 第9回: Lesson 11, Lesson 12(1) 第
10回: Lesson 12(2), Practice Test 第11回: Interview Test 第
12回: Simulation Test 第13回: 総復習 第14回: まとめ(1) 第15回: まとめ(2)

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 前期試験: 60% (2) 平常点: 40% (「平常点」とは前期試験以外のテスト、課題、授業への参加度。詳細は「内容」を参照してください。)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) 坂部、岡島、Noel、『Eiken Pre 2: Sure to Succeed 英検準2級 合格への道』(南雲堂、CD付き1900円、フジシヨップ扱い) その他プリント。

(辞書) 辞書は今お持ちの物を初回授業から持って来てください。

(推薦書) 授業で適宜紹介します。

科目名	英検準備講座 B		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、実用英語技能検定(英検)2級受験のための、準備クラスです。

英検一次試験に重点を置いて、語彙・イディオム・長文読解・リスニングなどの練習問題を解いていきます。

2級レベルに必要なとされる語彙/文法力・読解力・聴解力を身につけ、合格を目指します。

内容

実際の英検の出題形式に沿って、以下(~)のような問題演習を行いながら、ポイントとなる点を取り上げて解説していきます。

短文の語句空所補充 短文中の語句整序 長文の語句空所補充 長文の内容一致選択 リスニング

また、必要に応じて、基本的な文法事項の確認も行います。

知識の定着を図るために、授業で使用するテキストから隔週で単語の小テストを実施します。

授業には積極的に参加し、予習・復習を行うようにしてください。

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1)期末試験： 60%

(2)平常点： 40%(授業への参加度・小テスト・課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】坂部俊行・岡島徳昭・ウィリアム ノエル『英検2級 合格への道』南雲堂

【参考図書・辞典等】授業で適宜紹介します。

科目名	イギリス文化研究		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語） / 英語		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

内容

評価

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	アメリカ文化研究		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は諸外国（アメリカ、カナダ、イギリス等）の歴史、言語、文化の研究を通して異文化に触れ、より深く理解し、留学や研修で必要かつ十分な理解を得ようとするものです。特に歴史と文化はそれぞれの国に特有の傾向と相互影響がみられるので、相違点と類似点を考察することが特に大切である。また、多言語であるカナダと英語圏であるアメリカ、イギリスの傾向を知ることは歴史や文化、国民意識を知る上で重要である。

内容

アメリカ文化を多面的に捉えます。

1. 導入
2. アメリカの歴史：背景
3. アメリカの歴史：人物
4. アメリカの歴史：他の国との関係
5. アメリカの言語：歴史
6. アメリカの言語：変化
7. アメリカの言語：他の言語との関係
8. アメリカの文化：建築や芸術
9. アメリカの文化：文学
10. アメリカの文化：他の文化との関係
11. アメリカの地理：背景
12. アメリカの経済
13. アメリカと国際社会との関係
14. アメリカのまとめ 1
15. アメリカのまとめ 2

評価

平常点(30%)、リアクションペーパー(20%)、レポート(50%)による。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に説明：プリント

科目名	初級フランス語		
担当教員名	大原 知子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

フランス語の入門クラスです。基礎からきちんと学習します。とりわけ文法とそのときどきに必要な最低限度の単語は常時口頭で小テストをしながら獲得できるようにします。平行して、フランス文化の紹介として、フランスやパリを背景としたビデオを鑑賞し、挨拶や自己紹介など、簡単な会話ができるようにします。ここでは現在形まで学びます。辞書は必ず持って出席してください。復習として仏検5級の問題も扱いますので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】alphabet/つづり字記号、フランス語の音、テスト用基本単語のプリント配布
- 【第2回】あいさつと自己紹介 文法 動詞?treとavoir/職業など
- 【第3回】「何が好き？」第一群規則動詞 名詞の性と数/ 最近のフランス
- 【第4回】「何が好き？」否定文の作り方 不定冠詞と定冠詞 フランスの地理
- 【第5回】「紹介・家族は？ 家は？」 動詞「venir」 否定文
- 【第6回】「紹介・家族は？ 家は？」 形容詞の性と数/疑問文/所有形容詞
- 【第7回】「何をする？ どこに行く？」動詞aller/faire 指示形容詞/前置詞と定冠詞の縮約形/フランスの文化1
- 【第8回】「何をする？ どこに行く？」疑問詞/人称代名詞の強勢形/近接未来と近接過去 不規則動詞 aller/venir/faire/prendre の応用
- 【第9回】「どんな授業が好き？」疑問形容詞/比較級/命令法
- 【第10回】「カフェで」部分冠詞/非人称表現；天気、月・数(序数)フランスの文化2
- 【第11回】「何時に待ち合わせ？」 疑問形容詞/人称代名詞(間接目的補語)、最上級、/暦
- 【第12回】「何時に待ち合わせ？」 代名動詞、疑問形容詞、il fautの表現
- 【第13回】「誕生日おめでとう」vouloir/pouvoir/devoir(欲求・可能・義務を示す動詞)
- 【第14回】「誕生日おめでとう」不規則変化の動詞/フランスの社会問題
- 【第15回】復習とまとめ

評価

単語テスト3割(何度受けてもよい)、筆記試験7割、60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 改訂版「トーム・アン」 フランソワ・ルーセル/丸川誠司著、第三書房

科目名	初級フランス語		
担当教員名	大原 知子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

フランス語の入門クラスです。基礎からきちんと学習します。とりわけ文法とそのときどきに必要な最低限度の単語は常時口頭で小テストをしながら獲得できるようにします。平行して、フランス文化の紹介として、フランスやパリを背景としたビデオを鑑賞し、挨拶や自己紹介など、簡単な会話ができるようにします。ここでは現在形まで学びます。辞書は必ず持って出席してください。復習として仏検5級の問題も扱いますので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】alphabet/つづり字記号、フランス語の音、テスト用基本単語のプリント配布
- 【第2回】あいさつと自己紹介 文法 動詞?treとavoir/職業など
- 【第3回】「何が好き？」第一群規則動詞 名詞の性と数/ 最近のフランス
- 【第4回】「何が好き？」否定文の作り方 不定冠詞と定冠詞 フランスの地理
- 【第5回】「紹介・家族は？ 家は？」 動詞「venir」 否定文
- 【第6回】「紹介・家族は？ 家は？」 形容詞の性と数/疑問文/所有形容詞
- 【第7回】「何をする？ どこに行く？」動詞aller/faire 指示形容詞/前置詞と定冠詞の縮約形/フランスの文化1
- 【第8回】「何をする？ どこに行く？」疑問詞/人称代名詞の強勢形/近接未来と近接過去 不規則動詞 aller/venir/faire/prendre の応用
- 【第9回】「どんな授業が好き？」疑問形容詞/比較級/命令法
- 【第10回】「カフェで」部分冠詞/非人称表現；天気、月・数(序数)フランスの文化2
- 【第11回】「何時に待ち合わせ？」 疑問形容詞/人称代名詞(間接目的補語)、最上級、/暦
- 【第12回】「何時に待ち合わせ？」 代名動詞、疑問形容詞、il fautの表現
- 【第13回】「誕生日おめでとう」vouloir/pouvoir/devoir(欲求・可能・義務を示す動詞)
- 【第14回】「誕生日おめでとう」不規則変化の動詞/フランスの社会問題
- 【第15回】復習とまとめ

評価

単語テスト(口頭で行い、何度も受けられる)三割+筆記テスト七割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 「改訂版トーム・アン」 フランソワ・ルーセル/丸川誠司著 第三書房

科目名	初級フランス語		
担当教員名	大原 知子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ここではフランス語の会話とフランス文化を中心に学びます。フランスの若者の学校生活を背景にしたビデオを通して、初級フランス語Ⅰで身に付けた会話表現を増やしていきます。会話や文法の学習が容易になるよう、数字、建物、天候や時間の表現に必要な単語を項目ごとに暗記し、口頭テストとします。この口頭テストは失敗しても何度も受けられ、全体の成績の30%となります。またテーマの節目に、ビデオや映画鑑賞も含めて、パリやフランスの歴史と芸術を学習します。文法はフランス詩などを通して、過去形を学びます。復習として仏検5級、4級の問題も扱いますので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】「昨日何をした？」過去時制1) 複合過去1(avoir+過去分詞) / フランスの社会問題1 / パリの街(芸術散歩)
- 【第2回】「昨日何をした？」過去時制1) 複合過去2(?tre+過去分詞) 洋服屋で
- 【第3回】複合過去時制の応用 Jacques Pr?vertの詩
- 【第4回】「君が好き」補語人称代名詞(直接目的語と間接目的語)
- 【第5回】「病院で」(過去時制2) 半過去時制 / 関係代名詞 / 中性代名詞1)en
- 【第6回】「食事に呼ばれる」強調構文 / 受動態 / internet用語 / 中性代名詞2) y
- 【第7回】「何になりたい？」単純未来 / 観光 「フランスの芸術」(音楽・美術)
- 【第8回】「何になりたい？」ジェロンディフ(～しながら)
- 【第9回】「パリの観光」ノートルダム寺院とセーヌ川 / 感嘆文
- 【第10回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第11回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第12回】後期の復習 Jacques Pr?vertの詩を通して
- 【第13回】平易なフランス文を読む(教科書から)
- 【第14回】フランス映画「アメリー」からよく使う表現を学ぶ
- 【第15回】後期のまとめとフランス語の叙法について(直説法・条件法・接続法など)

評価

評価 単語テスト3割、筆記テスト7割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 「改訂版トーム・アン」 フランソワ・ルーセル/丸川誠司著 第三書房

科目名	初級フランス語		
担当教員名	大原 知子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ここではフランス語の会話とフランス文化を中心に学びます。フランスの若者の学校生活を背景にしたビデオを通して、初級フランス語Ⅰで身に付けた会話表現を増やしていきます。会話や文法の学習が容易になるよう、数字、建物、天候や時間の表現に必要な単語を項目ごとに暗記し、口頭テストとします。この口頭テストは失敗しても何度も受けられ、全体の成績の30%となります。またテーマの節目に、ビデオや映画鑑賞も含めて、パリやフランスの歴史と芸術を学習します。文法はフランス詩などを通して、過去形を学びます。復習として仏検5級、4級の問題も扱いますので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】「昨日何をした？」過去時制1) 複合過去1(avoir+過去分詞) / フランスの社会問題1 / パリの街(芸術散歩)
- 【第2回】「昨日何をした？」過去時制1) 複合過去2(?tre+過去分詞) 洋服屋で
- 【第3回】複合過去時制の応用 Jacques Pr?vertの詩
- 【第4回】「君が好き」補語人称代名詞(直接目的語と間接目的語)
- 【第5回】「病院で」(過去時制2) 半過去時制 / 関係代名詞 / 中性代名詞1)en
- 【第6回】「食事に呼ばれる」強調構文 / 受動態 / internet用語 / 中性代名詞2) y
- 【第7回】「何になりたい？」単純未来 / 観光 「フランスの芸術」(音楽・美術)
- 【第8回】「何になりたい？」ジェロンディフ(～しながら)
- 【第9回】「パリの観光」ノートルダム寺院とセーヌ川 / 感嘆文
- 【第10回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第11回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第12回】後期の復習 Jacques Pr?vertの詩を通して
- 【第13回】平易なフランス文を読む(教科書から)
- 【第14回】フランス映画「アメリー」からよく使う表現を学ぶ
- 【第15回】後期のまとめとフランス語の叙法について(直説法・条件法・接続法など)

評価

評価 単語テスト3割、筆記テスト7割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 「改訂版トーム・アン」 フランソワ・ルーセル/丸川誠司著 第三書房

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	テレサ サンタマリア		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業の目的は基本的な文法と単語を学習し、書き言葉・話し言葉でシンプルなスペイン語のコミュニケーションができるようになる事。

最初の30分はスペインのトピックスについて。文学、歴史、ニュースなど。

次の50分は文法と単語の学習。

最後の10分はゲーム、クイズ、質問など。

内容

Week 1: Abecedario espa?ol. . . . スペイン語のABC。

Week 2: Verbo SER / Presentaciones. . . . SER 動詞と自己紹介の仕方。

Week 3: Adjetivos / Numerales. . . . 形容詞と数字。

Week 4: Interrogativos: ?Qui?n?, ?C?mo?, ?Qu??, ?D?nde?. . . . 疑問詞。

Week 5: Art?culos determinados (el, la, los, las) / indeterminados (un, una, unos, unas). Singular / plural. . . . 定冠詞と不定冠詞。単数と複数。

Week 6: Adjetivos y Pronombres demostrativos (este, ese, aquel / esto, eso, aquello). . . . 指示形容詞と指示代名詞。

Week 7: Verbo ESTAR / SER. . . . ESTAR / SER 動詞。

Week 8: REPASO. . . . まとめ。

Week 9: Adjetivos posesivos / Vocabulario familia. . . . 所有格。家族の用語。

Week 10: Verbo TENER / Numerales. . . . TENER 動詞と数字。

Week 11: Mucho / muy. Vocabulario clima. . . . Muchoとmuyの使い方。天気の使用。

Week 12: ?Cu?nto cuesta?. . . . いくらですか？

Week 13: ?Qu? hora es?. . . . 何時ですか？

Week 14-15: REPASO. . . . まとめ。

*生徒の理解度によってレッスンのスケジュールは変わる可能性があります。

評価

評価はクラスでの発言40%、試験40%、宿題20%。評価項目を合わせて60%以上で合格とする。

合格に満たなかった場合は、再試験を行います。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Nuevo ESPA?OL 2000 ELEMENTAL. Libro del alumno (CD付き生徒用教科書)

著者: Jes?s S?nchez Lobato / Nieves Garc?a Fern?ndez

出版社：S.G.E.L.

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	テレサ サンタマリア		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業の目的は基本的な文法と単語を学習し、書き言葉・話し言葉でシンプルなスペイン語のコミュニケーションができるようになる事。

最初の30分はスペインのトピックスについて。文学、歴史、ニュースなど。

次の50分は文法と単語の学習。

最後の10分はゲーム、クイズ、質問など。

内容

Week 16: Verbos -AR Presente de Indicativo. . . . -AR動詞の現在形。

Week 17: Complemento Directo. . . . 直接目的語。

Week 18: Verbos -ER Presente de Indicativo. . . . -ER動詞の現在形。

Week 19: Pronombres personales. . . . 人称代名詞。

Week 20: Verbos -IR Presente de Indicativo. . . . -IR動詞の現在形。

Week 21: Pronombres Reflexivos. . . . 再帰代名詞。

Week 22: REPASO. . . . まとめ。

Week 23: Usos de TENER, QUERER, PODER, HACER, GUSTAR. . . . TENER, QUERER, PODER, HACER, GUSTAR動詞の使い方。

Week 24: ESTAR + Gerundio. . . . ESTAR + 動名詞。

Week 25: Gerundio + Pronombres Personales y Reflexivos. . . . 動名詞 + 人称と再帰代名詞。

Week 26: Adjetivos y Pronombres Posesivos. . . . 所有格。

Week 27: IR + a + Infinitivo. / + Pronombres Personales y Reflexivos. . . . IR + a + Infinitivoの使い方。 + 人称と再帰代名詞。

Week 28: Adjetivos y Pronombres Indefinidos. . . . 不定形容詞と不定代名詞。

Week 29-30: REPASO. . . . まとめ。

*生徒の理解度によってレッスンのスケジュールは変わる可能性があります。

評価

評価はクラスでの発言40%、試験40%、宿題20%。評価項目を合わせて60%以上で合格とする。

合格に満たなかった場合は、再試験を行います。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Nuevo ESPA?OL 2000 ELEMENTAL. Libro del alumno (CD付き生徒用教科書)

著者: Jes?s S?nchez Lobato / Nieves Garc?a Fern?ndez

出版社: S.G.E.L.

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	ホセ カルデロ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

このコースの目的は生徒にスペイン語での会話能力を身に付けさせることにある。読み書きも授業内容に含まれているが主に重点をおいているのはスピーキングをヒアリングである。授業はそれらを中心に行う。クラスは会話能力を付けさせることが主目的であるため、出席率と授業中クラスへの積極的な態度が重要なポイントとなる。

科目の概要

授業内容において70%を会話の練習に使う。2人で組んだりグループで話したりと形をかえて行う。

それによって、現実に見える会話能力を身に付けさせる。のこり30%は書き取りの学習をする。

資料やその他ゲーム等を使い、活動的に学んでいく。会話中心のクラスの為、文法・読み書きには重きをあまりおかない。

学修目標

スペイン語会話においてなんの前知識もない人達をスキルアップすることを目標としてゼロからスタートし学んでいく。コースが終わったときの最終目標としてスペイン語での日常会話を現在形・過去形・未来形を使って会話できるようにすることにある。

内容

下記内容を用いて 会話とヒアリングを学習する。授業には必ず出席のこと。

1	コースの紹介と基本的な挨拶
2	人物紹介とさらなる基本的挨拶
3	出身地について
4	物についての質問とその特徴について
5	個人に関する数字について(電話番号など)
6	一般的な事柄に関する数字を会話する(1)
7	一般的な事柄に関する数字を会話する(2)
8	自分のまわりの人々と事柄について(1)
9	自分にまわりの人々と事柄について(2)
10	現在形を使って動作について話す(1)
11	現在形を使って動作について話す(2)
12	現在形を使って動作について話す(3)
13	スペインの文化について(1)
14	スペインの文化について(2)
15	授業の復習

評価

クラスは会話能力をつけるのが主目的であるため、評価内容は平常点30%、クラスでの学習態度が30%、テストとレポートが40%を基準とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず、教師がそのつど教材を用意する。

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	ホセ カルデロ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

このコースの目的は生徒にスペイン語での会話能力を身に付けさせることにある。読み書きも授業内容に含まれているが主に重点をおいているのはスピーキングをヒアリングである。授業はそれらを中心に行う。クラスは会話能力を付けさせることが主目的であるため、出席率と授業中クラスへの積極的な態度が重要なポイントとなる。

科目の概要

授業内容において70%を会話の練習に使う。2人で組んだりグループで話したりと形をかえて行う。

それによって、現実に見える会話能力を身に付けさせる。のこり30%は書き取りの学習をする。

資料やその他ゲーム等を使い、活動的に学んでいく。会話中心のクラスの為、文法・読み書きには重きをあまりおかない。

学修目標

スペイン語会話においてなんの前知識もない人達をスキルアップすることを目標としてゼロからスタートし学んでいく。コースが終わったときの最終目標としてスペイン語での日常会話を現在形・過去形・未来形を使って会話できるようにすることにある。

内容

下記内容を用いて 会話とヒアリングを学習する。授業には必ず出席のこと。

1	コースの紹介と基本的な挨拶
2	人物紹介とさらなる基本的挨拶
3	出身地について
4	物についての質問とその特徴について
5	個人に関する数字について(電話番号など)
6	一般的な事柄に関する数字を会話する(1)
7	一般的な事柄に関する数字を会話する(2)
8	自分のまわりの人々と事柄について(1)
9	自分にまわりの人々と事柄について(2)
10	現在形を使って動作について話す(1)
11	現在形を使って動作について話す(2)
12	現在形を使って動作について話す(3)
13	スペインの文化について(1)
14	スペインの文化について(2)
15	授業の復習

評価

クラスは会話能力をつけるのが主目的であるため、評価内容は平常点30%、クラスでの学習態度が30%、テストとレポートが40%を基準とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず、教師がそのつど教材を用意する。

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	テレサ サンタマリア		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業の目的は基本的な文法と単語を学習し、書き言葉・話し言葉でシンプルなスペイン語のコミュニケーションができるようになる事。

最初の30分はスペインのトピックスについて。文学、歴史、ニュースなど。

次の50分は文法と単語の学習。

最後の10分はゲーム、クイズ、質問など。

内容

Week 1: Abecedario espa?ol. . . . スペイン語のABC。

Week 2: Verbo SER / Presentaciones. . . . SER 動詞と自己紹介の仕方。

Week 3: Adjetivos / Numerales. . . . 形容詞と数字。

Week 4: Interrogativos: ?Qui?n?, ?C?mo?, ?Qu??, ?D?nde?. . . . 疑問詞。

Week 5: Art?culos determinados (el, la, los, las) / indeterminados (un, una, unos, unas). Singular / plural. . . . 定冠詞と不定冠詞。単数と複数。

Week 6: Adjetivos y pronombres demostrativos (este, ese, aquel / esto, eso, aquello). . . . 指示形容詞と指示代名詞。

Week 7: Verbo ESTAR / SER. . . . ESTAR / SER 動詞。

Week 8: REPASO. . . . まとめ。

Week 9: Adjetivos posesivos / Vocabulario familia. . . . 所有格。家族の用語。

Week 10: Verbo TENER / Numerales. . . . TENER 動詞と数字。

Week 11: Mucho / muy. Vocabulario clima. . . . Muchoとmuyの使い方。天気の使用。

Week 12: ?Cu?nto cuesta?. . . . いくらですか？

Week 13: ?Qu? hora es?. . . . 何時ですか？

Week 14-15: REPASO. . . . まとめ。

*生徒の理解度によってレッスンのスケジュールは変わる可能性があります。

評価

評価はクラスでの発言40%、試験40%、宿題20%。評価項目を合わせて60%以上で合格とする。

合格に満たなかった場合は、再試験を行います。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Nuevo ESPA?OL 2000 ELEMENTAL. Libro del alumno (CD付き生徒用教科書)

著者: Jes?s S?nchez Lobato / Nieves Garc?a Fern?ndez

出版社: S.G.E.L.

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	テレサ サンタマリア		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業の目的は基本的な文法と単語を学習し、書き言葉・話し言葉でシンプルなスペイン語のコミュニケーションができるようになる事。

最初の30分はスペインのトピックスについて。文学、歴史、ニュースなど。

次の50分は文法と単語の学習。

最後の10分はゲーム、クイズ、質問など。

内容

Week 16: Verbos -AR Presente de Indicativo. . . . -AR動詞の現在形。

Week 17: Complemento Directo. . . . 直接目的語。

Week 18: Verbos -ER Presente de Indicativo. . . . -ER動詞の現在形。

Week 19: Pronombres personales. . . . 人称代名詞。

Week 20: Verbos -IR Presente de Indicativo. . . . -IR動詞の現在形。

Week 21: Pronombres Reflexivos. . . . 再帰代名詞。

Week 22: REPASO. . . . まとめ。

Week 23: Usos de TENER, QUERER, PODER, HACER, GUSTAR. . . . TENER, QUERER, PODER, HACER, GUSTAR動詞の使い方。

Week 24: ESTAR + Gerundio. . . . ESTAR + 動名詞。

Week 25: Gerundio + Pronombres Personales y Reflexivos. . . . 動名詞 + 人称と再帰代名詞。

Week 26: Adjetivos y Pronombres Posesivos. . . . 所有格。

Week 27: IR + a + Infinitivo. / + Pronombres Personales y Reflexivos. . . . IR + a + Infinitivoの使い方。 + 人称と再帰代名詞。

Week 28: Adjetivos y Pronombres Indefinidos. . . . 不定形容詞と不定代名詞。

Week 29-30: REPASO. . . . まとめ。

*生徒の理解度によってレッスンのスケジュールは変わる可能性があります。

評価

評価はクラスでの発言40%、試験40%、宿題20%。評価項目を合わせて60%以上で合格とする。

合格に満たなかった場合は、再試験を行います。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Nuevo ESPA?OL 2000 ELEMENTAL. Libro del alumno (CD付き生徒用教科書)

著者: Jes?s S?nchez Lobato / Nieves Garc?a Fern?ndez

出版社: S.G.E.L.

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	ホセ カルデロ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

このコースの目的は生徒にスペイン語での会話能力を身につけさせることにある。読み書きも授業内容に含まれているが主に重点を置いているのはスピーキングとヒアリングである。

授業はそれらを中心に行う。クラスは会話能力を付けさせることが主目的であるため、出席と授業中クラスへの積極的な態度が重要なポイントとなる。

科目の概要

授業内容において70%を会話の練習に使う。2人で組んだりグループで話したりと形をかえて行う。

それによって、現実に使える会話能力を身につけさせる。残り30%は書き取りの学習をする。

資料やその他のゲームを使い、活動的に学んでいく。会話中心のクラスの為、文法・読み書きには重きをあまりおかない。

学修目標

スペイン語会話において何の知識もない人達をスキルアップすることを目標としてゼロからスタートし学んでいく。コースが終わった時の最終目標として、スペイン語での日常会話を現在形・過去形・未来形を使って会話できるようにすることにある。

内容

下記内容を用いて 会話とヒアリングを学習する。授業には必ず出席のこと。

1	コースの紹介と基本的な挨拶
2	人物紹介とさらなる基本的挨拶
3	出身地について
4	物についての質問とその特徴
5	個人に関する数字について(電話番号など)
6	一般的な事柄に関する数字を会話する(1)
7	一般的な事柄に関する数字を会話する(2)
8	自分のまわりの人々と事柄について(1)
9	自分のまわりの人々と事柄について(2)
10	現在形を使って動作について話す(1)
11	現在形を使って動作について話す(2)
12	現在形を使って動作について話す(3)
13	スペインの文化について(1)
14	スペインの文化について(2)
15	授業の復習

評価

クラスは会話能力をつけるのが主目的であるため、評価内容は平常点30%、クラスでの学習態度が30%、テストとレポートが40%を基準とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず、教師がそのつど教材を用意する。

科目名	初級スペイン語		
担当教員名	ホセ カルデロ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

このコースの目的は生徒にスペイン語での会話能力を身につけさせることにある。読み書きも授業内容に含まれているが主に重点を置いているのはスピーキングとヒアリングである。

授業はそれらを中心に行う。クラスは会話能力を付けさせることが主目的であるため、出席と授業中クラスへの積極的な態度が重要なポイントとなる。

科目の概要

授業内容において70%を会話の練習に使う。2人で組んだりグループで話したりと形をかえて行う。

それによって、現実に使える会話能力を身につけさせる。残り30%は書き取りの学習をする。

資料やその他のゲームを使い、活動的に学んでいく。会話中心のクラスの為、文法・読み書きには重きをあまりおかない。

学修目標

スペイン語会話において何の知識もない人達をスキルアップすることを目標としてゼロからスタートし学んでいく。コースが終わった時の最終目標として、スペイン語での日常会話を現在形・過去形・未来形を使って会話できるようにすることにある。

内容

下記内容を用いて 会話とヒアリングを学習する。授業には必ず出席のこと。

1	コースの紹介と基本的な挨拶
2	人物紹介とさらなる基本的挨拶
3	出身地について
4	物についての質問とその特徴
5	個人に関する数字について(電話番号など)
6	一般的な事柄に関する数字を会話する(1)
7	一般的な事柄に関する数字を会話する(2)
8	自分のまわりの人々と事柄について(1)
9	自分のまわりの人々と事柄について(2)
10	現在形を使って動作について話す(1)
11	現在形を使って動作について話す(2)
12	現在形を使って動作について話す(3)
13	スペインの文化について(1)
14	スペインの文化について(2)
15	授業の復習

評価

クラスは会話能力をつけるのが主目的であるため、評価内容は平常点30%、クラスでの学習態度が30%、テストとレポートが40%を基準とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず、教師がそのつど教材を用意する。

科目名	初級中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

中国語の特徴・発音・基本文法を学びます。言葉の学習だけではなく、背景にある歴史や文化も映像資料などによって紹介します。今後ますます重要度を増す「中国語」の基本を作っていきます。

科目の概要

毎回正しい発音が身についているかをチェックします。読む・聴く・話す・書くのバランスを取りながら、少しずつ積み重ねていきます。しかし、授業ではどうしても発音と文法理解に時間をかけますから、聴く力は積極的に時間を作ってCDを聴くようにしましょう。

学修目標

中国語の基本的な力を身につけることを目標にします。

1. 正しく発音できること
2. 学んだ範囲の事を聴いて理解できること
3. 文法が理解できて文章が翻訳できること
4. 簡単な自己紹介ができること。

これらを身につけることで、中国語検定試験にチャレンジする素地がととのうのです。楽しく頑張りましょう。

内容

1	ガイダンス・中国語概説
2	発音概説
3	第1課 人称・「是」構文
4	第2課 疑問文・副詞
5	第3課 動詞文・助詞
6	中国の文化
7	第4課 量詞・形容詞文
8	第5課 完了・助動詞
9	第6課 数字関連
10	検定試験について
11	リーディング・リスニング
12	ライティング・スピーキング
13	総括
14	確認作業
15	まとめ

評価

小テスト3回(30点)と授業態度(20点)を平常点とし、試験(50点)の点数を足して評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一步』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子他 南雲堂フェニックス

科目名	初級中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

中国語の特徴・発音・基本文法を学びます。言葉の学習だけではなく、背景にある歴史や文化も映像資料などによって紹介します。今後ますます重要度を増す「中国語」の基本を作っていきます。

科目の概要

毎回正しい発音が身についているかをチェックします。読む・聴く・話す・書くのバランスを取りながら、少しずつ積み重ねていきます。しかし、授業ではどうしても発音と文法理解に時間をかけますから、聴く力は積極的に時間を作ってCDを聴くようにしましょう。

学修目標

中国語の基本的な力を身につけることを目標にします。

1. 正しく発音できること
2. 学んだ範囲の事を聴いて理解できること
3. 文法が理解できて文章が翻訳できること
4. 簡単な自己紹介ができること。

これらを身につけることで、中国語検定試験にチャレンジする素地がととのうのです。楽しく頑張りましょう。

内容

1	ガイダンス・中国語概説
2	発音概説
3	第1課 人称・「是」構文
4	第2課 疑問文・副詞
5	第3課 動詞文・助詞
6	中国の文化
7	第4課 量詞・形容詞文
8	第5課 完了・助動詞
9	第6課 数字関連
10	検定試験について
11	リーディング・リスニング
12	ライティング・スピーキング
13	総括
14	確認作業
15	まとめ

評価

小テスト3回(30点)と授業態度(20点)を平常点とし、試験(50点)の点数を足して評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一步』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子他 南雲堂フェニックス

科目名	初級中国語		
担当教員名	飯塚 敏夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

【1 科目の性格】

中国語の特徴・発音・基本文法を学びます。中国はもとより全世界に広がる華人の共通語である中国語を基礎から学びます。

【2 科目の概要】

中国語の「聴く、話す、読む、書く」の4つの基礎力をつけます。毎回発音をチェックするとともに、随時小テストを行って学習成果を確認します。

授業では発音と文法理解に重点を置きますので、各自CDを繰り返し聴いて「聴く」力を養って下さい。

【3 学修目標】

中国語の基礎を身につけることを目標にし、

1. 正しく発音できる
2. 簡単な中国語は聴いて理解できる
3. 中国語の語順を理解できる
4. 簡単な挨拶ができる、ことを目指します。

内容

1	ガイダンス・中国語概要
2	発音基礎
3	発音基礎
4	確認(小テスト)
5	第1課 人称・「是」構文
6	第2課 疑問文・副詞
7	第3課 動詞文・助詞
8	確認(小テスト)
9	第4課 量詞・形容詞文
10	第5課 完了・助動詞
11	第6課 数字関連
12	確認(小テスト)
13	総復習
14	確認作業
15	まとめ

評価

小テスト3回(30点)、授業態度(20点)、試験(50点)で評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト 尹景春・竹島毅『はじめの一步』白水社

参考書 池間里代子ほか『中国語検定4級合格への手引き』南雲堂フェニックス

科目名	初級中国語		
担当教員名	山本 賢二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格) 中国語の特徴・発音・基本文法を学び、国連の公用語のひとつであり、中国はもとより世界に広がる華人の共通語としての中国語の基礎の基礎を作ります。

(科目の概要)中国語の「聴く、話す、読む、書く」の基礎力をつけるために、毎回テキストをできるだけ多くの受講者に読んでもらい、発音をチェックすると同時に、適時小テストを行い、学習成果の確認をします。授業では発音と文法理解に時間をかけますから、「聴く」面についてはCDをよく聴いてください。

(学修目標) 中国語の基礎の基礎を作ること为目标にし、(1)正しく発音できる (2)簡単な中国語は聴いて理解できる (3)中国語の語順が分かる (4)簡単な挨拶ができる、ようになることを目指します。

内容

1. ガイダンス・中国語概要
2. 発音基礎
3. 発音基礎
4. 確認(小テスト)
5. 第1課 人称・「是」構文
6. 第2課 疑問文・副詞
7. 第3課 動詞文・助詞
8. 確認(小テスト)
9. 第4課 量詞・形容詞文
10. 第5課 完了・助動詞
11. 第6課 数字関連
12. 確認(小テスト)
13. リーディング・リスニング
14. ライティング・スピーキング
15. まとめ

評価

小テスト3回(30%)、授業参加度(20%)、試験(50%)で評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト 尹景春・竹島毅『はじめの一步』白水社

参考書 池間里代子ほか『中国語検定4級合格への手引き』南雲堂フェニックス

科目名	初級中国語		
担当教員名	山本 賢二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格) 中国語の特徴・発音・基本文法を学び、国連の公用語のひとつであり、中国はもとより世界に広がる華人の共通語としての中国語の基礎の基礎を作ります。

(科目の概要)中国語の「聴く、話す、読む、書く」の基礎力をつけるために、毎回テキストをできるだけ多くの受講者に読んでもらい、発音をチェックすると同時に、適時小テストを行い、学習成果の確認をします。授業では発音と文法理解に時間をかけますから、「聴く」面についてはCDをよく聴いてください。

(学修目標) 中国語の基礎の基礎を作ること为目标にし、(1)正しく発音できる (2)簡単な中国語は聴いて理解できる (3)中国語の語順が分かる (4)簡単な挨拶ができる、ようになることを目指します。

内容

1. ガイダンス・中国語概要
2. 発音基礎
3. 発音基礎
4. 確認(小テスト)
5. 第1課 人称・「是」構文
6. 第2課 疑問文・副詞
7. 第3課 動詞文・助詞
8. 確認(小テスト)
9. 第4課 量詞・形容詞文
10. 第5課 完了・助動詞
11. 第6課 数字関連
12. 確認(小テスト)
13. リーディング・リスニング
14. ライティング・スピーキング
15. まとめ

評価

小テスト3回(30%)、授業参加度(20%)、試験(50%)で評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト 尹景春・竹島毅『はじめの一步』白水社

参考書 池間里代子ほか『中国語検定4級合格への手引き』南雲堂フェニックス

科目名	初級中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

前期で学んだ中国語の発音・基礎文法をふまえて、中国語を通して中国が理解できるよう、学んでいきます。テキストにある「コラム」を発端として、日本との相違を意識します。

科目の概要

授業では正しい発音を常にチェックします。また、より高度な文法を学びます。さらに、語彙を増やして自分の言いたいことを「中国語で言える」「中国語で書ける」よう、練習を積み重ねます。

学修目標

1. テキストを正しい発音で読めること
2. 練習問題が完璧にできること
3. やや長い文章を聴いて理解できること
4. 言いたいことを言え、かつ書けること

さらに、希望する学生には中国語検定試験準4級・4級の情報を与えますので、ぜひともチャレンジしてみましょう。

内容

1	前期内容の復習
2	第7課 前置詞・反復疑問文
3	第8課 助動詞・前置詞
4	第9課 アスペクト助詞・前置詞
5	リーディング・リスニング
6	第10課 助動詞・重ね型
7	第11課 進行形・選択疑問文
8	第12課 比較表現
9	ライティング・リスニング
10	第13課 二重目的語・助詞
11	「自己紹介」・スピーキング
12	中国語検定試験過去問題解説
13	総括
14	確認作業
15	まとめ

評価

小テスト(30点)と授業態度(20点)、さらに試験(50点)を加えて評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『中国語はじめの一步』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス

その他、プリント・検定試験過去問題などを配布します。

科目名	初級中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

前期で学んだ中国語の発音・基礎文法をふまえて、中国語を通して中国が理解できるよう、学んでいきます。テキストにある「コラム」を発端として、日本との相違を意識します。

科目の概要

授業では正しい発音を常にチェックします。また、より高度な文法を学びます。さらに、語彙を増やして自分の言いたいことを「中国語で言える」「中国語で書ける」よう、練習を積み重ねます。

学修目標

1. テキストを正しい発音で読めること
2. 練習問題が完璧にできること
3. やや長い文章を聴いて理解できること
4. 言いたいことを言え、かつ書けること

さらに、希望する学生には中国語検定試験準4級・4級の情報を与えますので、ぜひともチャレンジしてみましょう。

内容

1	前期内容の復習
2	第7課 前置詞・反復疑問文
3	第8課 助動詞・前置詞
4	第9課 アスペクト助詞・前置詞
5	リーディング・リスニング
6	第10課 助動詞・重ね型
7	第11課 進行形・選択疑問文
8	第12課 比較表現
9	ライティング・リスニング
10	第13課 二重目的語・助詞
11	「自己紹介」・スピーキング
12	中国語検定試験過去問題解説
13	総括
14	確認作業
15	まとめ

評価

小テスト(30点)と授業態度(20点)、さらに試験(50点)を加えて評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『中国語はじめの一步』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス

その他、プリント・検定試験過去問題などを配布します。

科目名	初級中国語		
担当教員名	飯塚 敏夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

【1 科目の性格】

前期に学んだ中国語の特徴・発音・基本文法を基礎にして、さらに高いレベルを目指し、中国語力向上に努めます。

【2 科目の概要】

前期に続き、中国語の「聴く、話す、読む、書く」の基礎力をつけるための学修を重ねます。

さらに、文法理解を深めるとともに、語彙も増やして、中国語を「書ける」、「話せる」ようになることを目指します。中国の社会と文化などにも言及します。

【3 学修目標】中国語の基礎を身につけることを目標にし、

1. 正しく発音できる
2. 簡単な中国語は聴いて理解できる
3. 中国語の文法を理解できる
4. 簡単な会話ができる、ことを目指します。

内容

1	前期授業内容の復習
2	第7課 前置詞・反復疑問文
3	第8課 助動詞・前置詞
4	第9課 アスペクト助詞・前置詞
5	確認(小テスト)
6	第10課 助動詞・重ね型
7	第11課 進行形・選択疑問文
8	確認(小テスト)
9	第12課 比較表現
10	第13課 二重目的語・助詞
11	確認(小テスト)
12	決まり文句
13	総復習
14	確認作業
15	まとめ

評価

小テスト3回(30点)、授業態度(20点)、試験(50点)で評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト 尹景春・竹島毅『はじめの一步』白水社

参考書 池間里代子ほか『中国語検定4級合格への手引き』南雲堂フェニックス

科目名	初級中国語		
担当教員名	山本 賢二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)「初級中国語」で学んだ中国語の特徴・発音・基本文法を基礎にして、さらに高いレベルを目指し、中国語を使うための語学力向上に努めます。

(科目の概要)「初級中国語」と同様に中国語の「聴く、話す、読む、書く」の基礎力をつけるために、毎回テキストをできるだけ多くの受講者に読んでもらい、発音をチェックすると同時に、適時小テストを行い、学習成果の確認をします。また、より高度な文法を学ぶとともに、語彙も増やして、中国語を「書けて」、「話せる」ようになるよう練習を重ねます。さらに、テキストの「コラム」を展開し、日本との違いにも関心を向けます。

(学修目標) 中国語の基礎力を作ることを目標にし、(1)正しく発音できる (2)中国語の文法が分かる (3)簡単な中国語が書ける (4)簡単な会話ができる、ようになることを目指します。

内容

- 1.「初級中国語」授業内容の復習
- 2.第7課 前置詞・反復疑問文
- 3.第8課 助動詞・前置詞
- 4.第9課 アスペクト助詞・前置詞
- 5.確認(小テスト)
- 6.第10課 助動詞・重ね型
- 7.第11課 進行形・選択疑問文
- 8.確認(小テスト)
- 9.第12課 比較表現
- 10.第13課 二重目的語・助詞
- 11.確認(小テスト)
- 12.自己紹介
- 13.自己紹介
- 14.日本紹介
- 15.まとめ

評価

小テスト3回(30%)、授業参加度(20%)、試験(50%)で評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト 尹景春・竹島毅『はじめの一步』白水社

参考書 池間里代子ほか『中国語検定4級合格への手引き』南雲堂フェニックス

科目名	初級中国語		
担当教員名	山本 賢二		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)「初級中国語」で学んだ中国語の特徴・発音・基本文法を基礎にして、さらに高いレベルを目指し、中国語を使うための語学力向上に努めます。

(科目の概要)「初級中国語」と同様に中国語の「聴く、話す、読む、書く」の基礎力をつけるために、毎回テキストをできるだけ多くの受講者に読んでもらい、発音をチェックすると同時に、適時小テストを行い、学習成果の確認をします。また、より高度な文法を学ぶとともに、語彙も増やして、中国語を「書けて」、「話せる」ようになるよう練習を重ねます。さらに、テキストの「コラム」を展開し、日本との違いにも関心を向けます。

(学修目標) 中国語の基礎力を作ることを目標にし、(1)正しく発音できる (2)中国語の文法が分かる (3)簡単な中国語が書ける (4)簡単な会話ができる、ようになることを目指します。

内容

- 1.「初級中国語」授業内容の復習
- 2.第7課 前置詞・反復疑問文
- 3.第8課 助動詞・前置詞
- 4.第9課 アスペクト助詞・前置詞
- 5.確認(小テスト)
- 6.第10課 助動詞・重ね型
- 7.第11課 進行形・選択疑問文
- 8.確認(小テスト)
- 9.第12課 比較表現
- 10.第13課 二重目的語・助詞
- 11.確認(小テスト)
- 12.自己紹介
- 13.自己紹介
- 14.日本紹介
- 15.まとめ

評価

小テスト3回(30%)、授業参加度(20%)、試験(50%)で評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト 尹景春・竹島毅『はじめの一步』白水社

参考書 池間里代子ほか『中国語検定4級合格への手引き』南雲堂フェニックス

科目名	日本語		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	4	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)を対象とする日本語の授業である。

この授業では日本語の4技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に1)語彙を増やす2)表現文型を習得する3)読解力をつける4)自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

第1回	前期授業のガイダンス・テキストの説明
第2回～4回	読解1 短文を読む(指示語の理解・主語を探す)
第5回～7回	文法 接続詞・原因・結果の表現・名詞修飾
第8、9回	作文
第10回～12回	読解2 中文を読む(大意をつかむ・先を予測して読む)
第13、14回	文法 文の骨組み・助詞の働きをする言葉
第15回	前期のまとめ

評価

平常点(30点)、試験(70点)により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500:中上級/友松悦子ほか著/アルク

科目名	日本語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	10クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)を対象とする日本語の授業である。

この授業では日本語の4技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に1)語彙を増やす2)表現文型を習得する3)読解力をつける4)自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

第1回	前期授業のガイダンス・テキストの説明
第2回～4回	読解1 短文を読む(指示語の理解・主語を探す)
第5回～7回	文法 接続詞・原因・結果の表現・名詞修飾
第8、9回	作文
第10回～12回	読解2 中文を読む(大意をつかむ・先を予測して読む)
第13、14回	文法 文の骨組み・助詞の働きをする言葉
第15回	前期のまとめ

評価

平常点(30点)、試験(70点)により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500: 中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク

科目名	日本語		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	4	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)を対象とする日本語の授業である。

この授業では前期の「日本語」を修得した上で、さらに日本語の4技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に 1) 語彙を増やす 2) 表現文型を習得する 3) 読解力をつける 4) 自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に試してみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

第1回	後期授業のガイダンス
第2回~5回	読解3 中文・長文を読む (主張理解)
第5, 6回	文法 長文によく使われる表現
第7回	文章表現 要約、意見文を書く
第8回~10回	読解4 長文を読む(総合)
第11, 12回	文法 複文を作る表現
第13回	文章表現 コラム作成
第14回	読解5 色々な文を読む
第15回	まとめ

評価

平常点(30点)、試験(70点)により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くろしお出版

科目名	日本語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)を対象とする日本語の授業である。

この授業では前期の「日本語」を修得した上で、さらに日本語の4技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に 1) 語彙を増やす 2) 表現文型を習得する 3) 読解力をつける 4) 自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

第1回	後期授業のガイダンス
第2回~5回	読解3 中文・長文を読む(主張理解)
第5,6回	文法 長文によく使われる表現
第7回	文章表現 要約、意見文を書く
第8回~10回	読解4 長文を読む(総合)
第11,12回	文法 複文を作る表現
第13回	文章表現 コラム作成
第14回	読解5 色々な文を読む
第15回	まとめ

評価

平常点(30点)、試験(70点)により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くろしお出版

科目名	日本語表現技術		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

留学生(1年次学生)のための日本語関連科目の中で、特に「書く」ことを中心に授業を進め、日本語力の向上を目指す科目です。「日本語表現技術(中級基礎)」に続く科目です。

科目の概要

毎回、授業で取り上げるテーマ(内容のまとめ・接続のことば・ノートをとる練習・話の展開など)を設定し、課題をこなしながら、読む人に正しく伝わることを目標にして、文を書く練習を行います。毎回何かを書くという作業を通して、「表現する技術」の向上を目指します。

学修目標

この授業を修了するためには、授業中に課される課題を授業時間内で完成させることが必要になります。

- 1 授業に出席し、問題となるテーマについて講義を受ける。
- 2 テーマを理解するための課題・構文練習を完成させる。
- 3 テーマ理解を深めるため、まとまった長さの文章を書き、適切な日本語表現を習得する。
- 4 学習した事柄を積極的に身につけようとする姿勢が求められます。

内容

1	文章の内容をつかむ：聞き取った内容をまとめる(スピーチ)
2	文章の内容をつかむ：聞き取った内容をまとめる(会話文)
3	文章の内容をつかむ：書かれている内容を説明する(文章を読んで、内容を説明する)
4	文章の内容をつかむ：書かれている内容を説明する(文章を読んで、内容を図式化する)
5	授業ノートをとる：キーワードの選出・箇条書きを作る
6	授業ノートをとる：講義を聞いてノートをとる練習
7	話の展開：話の続きを想像する(場面を展開する)
8	話の展開：話の続きを想像する(場面を展開する)
9	話の展開：つながりのことばを考える(場面の展開で接続のことばを使う)
10	話の展開：つながりのことばを考える(場面の展開で接続のことばを使う)
11	話の展開：視点を変えて表現する(立場をかえて同じ内容について表現する)
12	意見・考えを述べる：事実と意見の区別
13	意見・考えを述べる：短い意見文を書く
14	意見・考えを述べる：短い意見文を書く
15	まとめ

評価

各回授業での課題の完成(授業中に課す課題を完成させることが評価の対象になります)： 30%

筆記試験（まとまった長さの文章を書くことが求められます）： 70%

合計60%以上を合格点とします。

評価を受けるためには、3分の2以上の出席が求められます。

合格点に達しなかった場合は再試験を行います。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室での配布物が授業教材となります。

科目名	日本語（中級基礎）		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	10クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（1年次学生）を対象とする日本語の授業である。

この授業では日本語の4技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に1）語彙を増やす2）表現文型を習得する3）読解力をつける4）自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1）あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2）積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3）授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4）宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

第1回	前期授業のガイダンス・テキストの説明
第2回～4回	読解1 短文を読む（指示語の理解・主語を探す）
第5回～7回	文法 接続詞・原因・結果の表現・名詞修飾
第8、9回	作文
第10回～12回	読解2 中文を読む（大意をつかむ・先を予測して読む）
第13、14回	文法 文の骨組み・助詞の働きをする言葉
第15回	前期のまとめ

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク

科目名	日本語（中級基礎）		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（1年次学生）を対象とする日本語の授業である。

この授業では日本語の4技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に1)語彙を増やす2)表現文型を習得する3)読解力をつける4)自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

第1回	前期授業のガイダンス・テキストの説明
第2回～4回	読解1 短文を読む（指示語の理解・主語を探す）
第5回～7回	文法 接続詞・原因・結果の表現・名詞修飾
第8、9回	作文
第10回～12回	読解2 中文を読む（大意をつかむ・先を予測して読む）
第13、14回	文法 文の骨組み・助詞の働きをする言葉
第15回	前期のまとめ

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク

科目名	日本語（中級応用）		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（1年次学生）を対象とする日本語の授業である。

この授業では前期の「日本語」を修得した上で、さらに日本語の4技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に 1) 語彙を増やす 2) 表現文型を習得する 3) 読解力をつける 4) 自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に試してみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

第1回	後期授業のガイダンス
第2回～5回	読解3 中文・長文を読む（主張理解）
第5, 6回	文法 長文によく使われる表現
第7回	文章表現 要約、意見文を書く
第8回～10回	読解4 長文を読む（総合）
第11, 12回	文法 複文を作る表現
第13回	文章表現 コラム作成
第14回	読解5 色々な文を読む
第15回	まとめ

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くろしお出版

科目名	日本語（中級応用）		
担当教員名	前田 庸子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

1年次の留学生を対象とする。

日本語の四技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高める。

科目の概要

日本語の総合教材を使用する。特に、以下の事柄に重点を置き、授業を進める。

- 1．漢字の読み書きを習得する
- 2．語彙を増やす
- 3．表現文型を習得する
- 4．読解力をつける

学修目標

この科目を修了するためには、以下のことに注意をし、授業に出席することが求められる。

- 1．教材を事前によく読み、講義の内容を理解するように努力する
- 2．積極的に授業に参加し、分からないところは授業内で解決する
- 3．小テスト及び提出物は平常点として評価の対象となる

内容

1	ガイダンス・教科書の説明など
2	読解1 語彙
3	読解1 本文の内容
4	読解1 文法
5	読解2 語彙
6	読解2 本文の内容
7	読解2 文法
8	復習
9	読解3 語彙
10	読解3 本文の内容
11	読解3 文法
12	読解4 語彙
13	読解4 本文の内容
14	読解4 文法
15	まとめ

評価

筆記試験 70点、平常点（提出物を含む）30点、3分の2以上出席することで評価を受けることができる。60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は第1回目の教場で指示する。

参考図書は必要に応じ、教室で紹介する。

科目名	日本語（中級応用）		
担当教員名	小田 明子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

1年次の留学生を対象とする。

日本語の四技能(読む・書く・話す・聞く)を総合的に高める。

科目の概要

日本語の総合教材を使用する。特に、以下の事柄に重点を置き、授業を進める。

1. 漢字の読み書きを習得する
2. 語彙を増やす
3. 表現文型を習得する
4. 読解力をつける

学修目標

この科目を修了するためには、以下のことに注意をし、授業に出席することが求められる。

1. 教材を事前によく読み、講義の内容を理解するように努力する
2. 積極的に授業に参加し、分からないところは授業内で解決する
3. 小テスト及び提出物は平常点として評価の対象となる

内容

1	ガイダンス・教科書の説明など
2	読解1 語彙
3	読解1 本文の内容
4	読解1 文法
5	読解2 語彙
6	読解2 本文の内容
7	読解2 文法
8	復習
9	読解3 語彙
10	読解3 本文の内容
11	読解3 文法
12	読解4 語彙
13	読解4 本文の内容
14	読解4 文法
15	まとめ

評価

筆記試験 70点、平常点（提出物を含む）30点、3分の2以上出席することで評価を受けることができる。60点以上を合格とする。合格に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は第1回目の教場で指示する。

参考図書は必要に応じ、教室で紹介する。

科目名	日本語（中級応用）		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（1年次学生）を対象とする日本語の授業である。

この授業では前期の「日本語」を修得した上で、さらに日本語の4技能（読む・書く・話す・聞く）を総合的に高めることを目指す。

科目の概要

プレースメントテストの結果を見て必要な日本語教材を用意する。授業では特に 1) 語彙を増やす 2) 表現文型を習得する 3) 読解力をつける 4) 自分の考えを表現する力をつける ことに力をおいて進め、専門科目の授業が受講できるような日本語運用力をつける。

学修目標

この授業を修了するには以下のことに留意する必要がある。

- 1) あらかじめ教材を読んで、分からない語彙の意味を調べてくる
- 2) 積極的に授業に参加し、わからない箇所は授業中に解決するように努める。
- 3) 授業で勉強したことが定着するように復習し、実際に使ってみる
- 4) 宿題は平常点に含まれるので必ず提出する

*平常点には小テスト、提出物、授業態度などが含まれる

内容

第1回	後期授業のガイダンス
第2回～5回	読解3 中文・長文を読む（主張理解）
第5, 6回	文法 長文によく使われる表現
第7回	文章表現 要約、意見文を書く
第8回～10回	読解4 長文を読む（総合）
第11, 12回	文法 複文を作る表現
第13回	文章表現 コラム作成
第14回	読解5 色々な文を読む
第15回	まとめ

評価

平常点（30点）、試験（70点）により評価を行い、60点以上を合格とする。評価を受けるには三分の二以上の出席が必要である。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】第1回目の教場で指示する。

【参考図書】どんな時どう使う日本語表現文型500：中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くろしお出版

科目名	日本語表現技術（中級基礎）		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

留学生（1年次学生）のための日本語関連科目の中で、特に「書く」ことを中心に授業を進め、日本語力の向上を目指す科目です。

科目の概要

毎回、授業で取り上げるテーマ（助詞の問題・語順・文末の表現・ねじれのこない文など）を設定し、課題をこなしながら、読む人に正しく伝わることを目標にして、文を書く練習を行います。毎回、何かを書くという作業を通して、「表現する技術」を向上させる練習を行います。

学修目標

この授業を修了するためには、授業中に課される課題を授業時間内で完成させることが必要になります。

- 1 授業に出席し、問題となるテーマについて講義を受ける。
- 2 テーマを理解するための課題・構文練習を完成させる。
- 3 テーマ理解を深めるため、まとまった長さの文章を書き、適切な日本語表現を習得する。
- 4 学習した事柄を積極的に身につけようとする姿勢が求められます。

内容

1	ウォーミングアップ：授業案内・自己紹介・第三者の目による自己紹介・原稿用紙の使い方
2	正しい文を書くために：単語から文へ（助詞の使い方）
3	正しい文を書くために：単語から文へ（助詞の使い方）・メモから文へ（語順を意識する）
4	正しい文を書くために：メモから文へ（語順を意識する）
5	正しい文を書くために：読みやすい文（漢字とかなの割合）
6	正しい文を書くために：読みやすい文（句読点をつける）
7	正しい文を書くために：ねじれのこない文（文を正しく完結する）
8	正しい文を書くために：ねじれのこない文（文を正しく完結する）
9	文のスタイルを考える：敬体と常体（「です・ます体」と「である体」）
10	文のスタイルを考える：敬体と常体（「です・ます体」と「である体」）
11	文のスタイルを考える：語種による語感（「和語」と「漢語」）
12	文のスタイルを考える：語種による語感（「和語」と「漢語」）
13	文のスタイルを考える：話しことばし書きことば
14	文のスタイルを考える：話しことばし書きことば
15	まとめ

評価

各回授業での課題の完成（授業中に課す課題を完成させることが評価の対象になります）： 30%

筆記試験（まとまった長さの文章を書くことが求められます）： 70%

合計60%以上を合格点とします。

評価を受けるためには3分の2以上の出席が必要になります。

合格点に達しなかった場合は再試験を行います。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室での配布物が授業教材となります。

科目名	日本語表現技術（中級発展）		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

留学生（1年次学生）のための日本語関連科目の中で、特に「書く」ことを中心に授業を進め、日本語力の向上を目指す科目です。「日本語表現技術（中級基礎）」に続く科目です。

科目の概要

毎回、授業で取り上げるテーマ（内容のまとめ・接続のことば・ノートをとる練習・話の展開など）を設定し、課題をこなしながら、読む人に正しく伝わることを目標にして、文を書く練習を行います。毎回何かを書くという作業を通して、「表現する技術」の向上を目指します。

学修目標

この授業を修了するためには、授業中に課される課題を授業時間内で完成させることが必要になります。

- 1 授業に出席し、問題となるテーマについて講義を受ける。
- 2 テーマを理解するための課題・構文練習を完成させる。
- 3 テーマ理解を深めるため、まとまった長さの文章を書き、適切な日本語表現を習得する。
- 4 学習した事柄を積極的に身につけようとする姿勢が求められます。

内容

1	文章の内容をつかむ：聞き取った内容をまとめる（スピーチ）
2	文章の内容をつかむ：聞き取った内容をまとめる（会話文）
3	文章の内容をつかむ：書かれている内容を説明する（文章を読んで、内容を説明する）
4	文章の内容をつかむ：書かれている内容を説明する（文章を読んで、内容を図式化する）
5	授業ノートをとる：キーワードの選出・箇条書きを作る
6	授業ノートをとる：講義を聞いてノートをとる練習
7	話の展開：話の続きを想像する（場面を展開する）
8	話の展開：話の続きを想像する（場面を展開する）
9	話の展開：つながりのことばを考える（場面の展開で接続のことばを使う）
10	話の展開：つながりのことばを考える（場面の展開で接続のことばを使う）
11	話の展開：視点を変えて表現する（立場をかえて同じ内容について表現する）
12	意見・考えを述べる：事実と意見の区別
13	意見・考えを述べる：短い意見文を書く
14	意見・考えを述べる：短い意見文を書く
15	まとめ

評価

各回授業での課題の完成（授業中に課す課題を完成させることが評価の対象になります）： 30%

筆記試験（まとまった長さの文章を書くことが求められます）： 70%

合計60%以上を合格点とします。

評価を受けるためには、3分の2以上の出席が求められます。

合格点に達しなかった場合は再試験を行います。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室での配布物が授業教材となります。